



2023年10月期第1四半期決算(補足資料)

アイ・ケイ・ケイホールディングス株式会社
(証券コード:2198 東証PRM)

I . 2023年10月期第1四半期 連結決算概況



施行組数は第1四半期において過去最高を更新、施行単価も順調に回復

売上高は**4,912**百万円(前年同期比**26.0%**増)

施行組数は前年同期比**205**組増で着地、第1Qとしては、コロナ前水準を超えて過去最高の施行組数を達成
施行単価についても、3,725千円と順調に回復

営業利益は**362**百万円(前年同期比**201.2%**増)

上記要因等により営業利益は引き続き復調を継続、前年同期比242百万円増で着地

親会社株主に帰属する

四半期純利益は**180**百万円(前年同期比**0.0%**減)

受注残組数(2023年1月末)は**5,269**組(前年同期比**7.4%**減)

施行組数の増加に伴い受注残組数は減少も、引き続き高水準の受注残組数で推移

【ご参考】

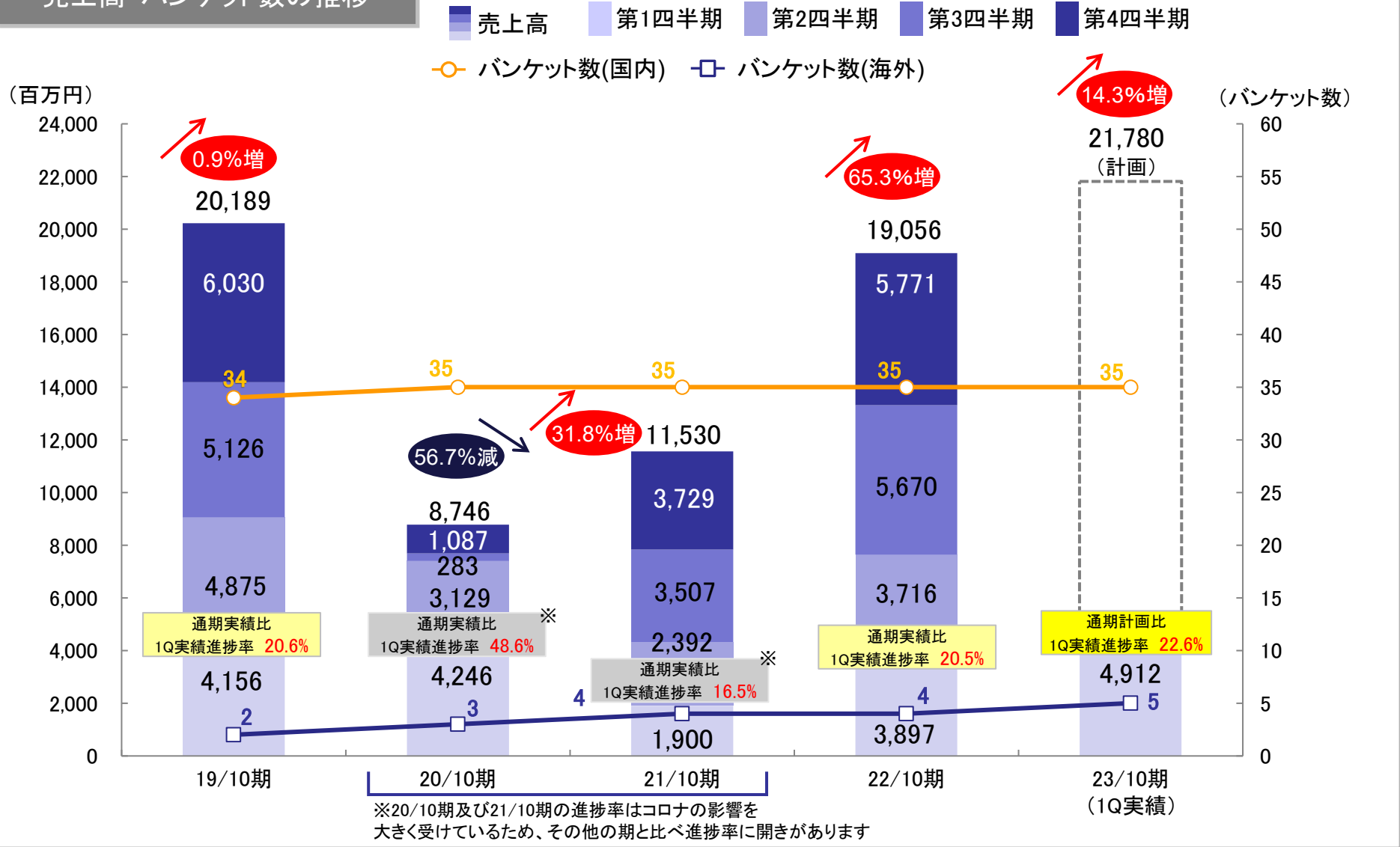
2023年1月末の受注残組数は、コロナ影響を受ける前の直近同期と比較すると13.0%増(2020年1月末の受注残組数は4,663組※)であり、コロナ前比較で順調に積み上げができていく状況

※2020年1月末時点において水戸支店、海外3店舗は受注前の段階であり、当該期の受注残組数には含まれていない

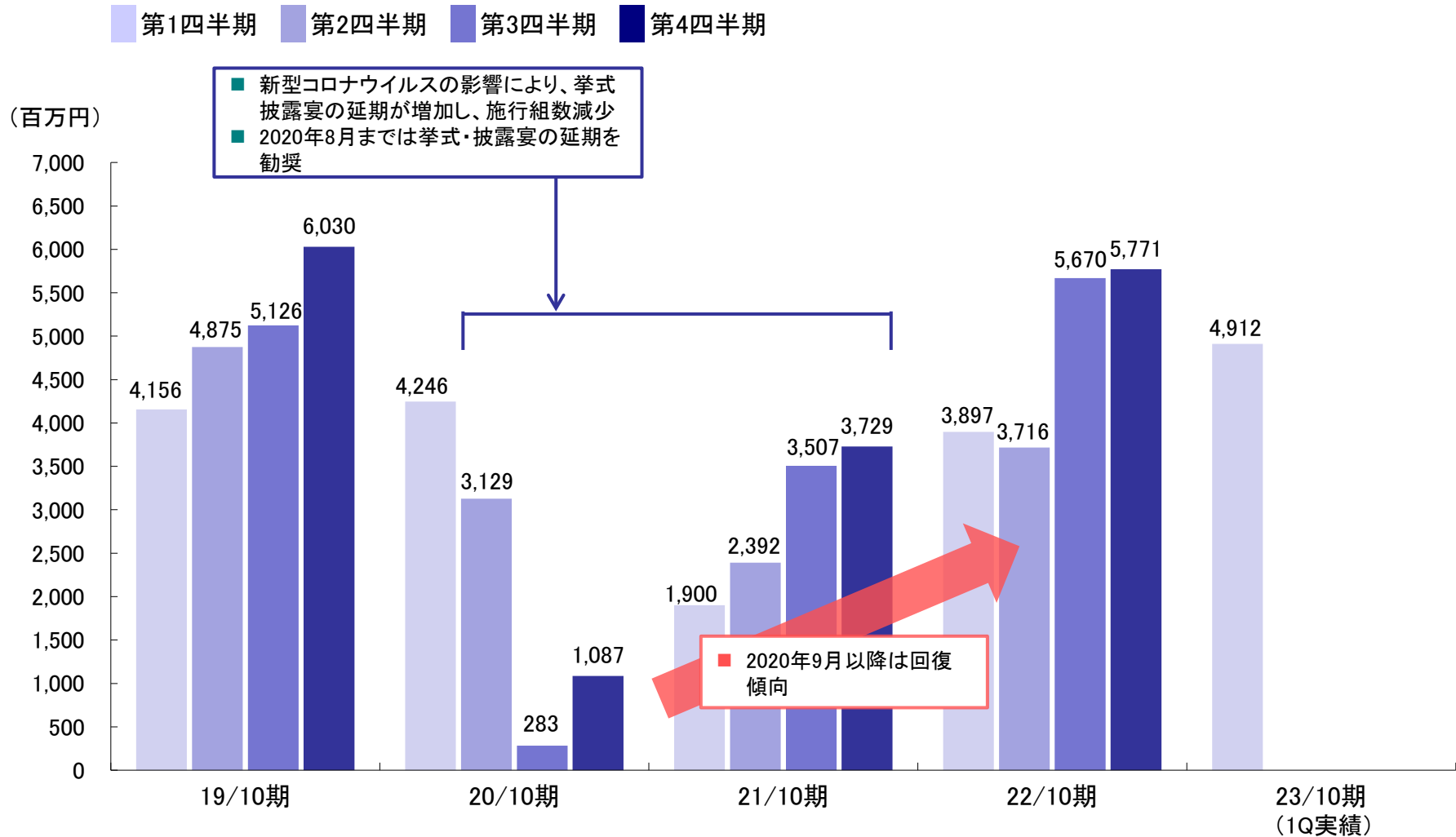
	2022年10月期 (第1四半期)		2023年10月期 (第1四半期)			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	前年同期比	
					増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	3,897	100.0	4,912	100.0	1,014	26.0
婚礼事業	3,736	95.9	4,696	95.6	959	25.7
介護事業	138	3.6	140	2.9	2	1.7
食品事業	42	1.1	66	1.3	23	55.9
フォト事業	—	—	43	0.9	43	—
結婚仲介事業	—	—	1	0.0	1	—
売上総利益	2,267	58.2	2,838	57.8	571	25.2
販管費	2,146	55.1	2,476	50.4	329	15.4
営業利益	120	3.1	362	7.4	242	201.2
経常利益	220	5.6	369	7.5	149	68.0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	180	4.6	180	3.7	▲0	▲0.0
1株当たり 四半期純利益(円)	6.13	—	6.15	—	—	—

※2021年11月に、フォト事業を展開するAmbihone(アンビオーネ)株式会社及び結婚仲介事業を展開するララ・クール株式会社を設立

売上高・バンケット数の推移



売上高の推移



	22/10期 1Q実績	23/10期 1Q実績	前年同期比	
			増減	増減率 (%)
婚礼事業売上高 (百万円)	3,736	4,696	959	25.7
国内店舗数(店)	19	19	0	0.0
海外店舗数(店) ^{※1}	4	5	1	25.0
施行組数(組)	1,049	1,254	205	19.5
国内	1,040	1,233	193	18.6
海外	9	21	12	133.3
受注組数 ^{※2} (組)	1,186	1,300	114	9.6
受注残組数 ^{※2} (組)	5,687	5,269	▲418	▲7.4
施行単価 ^{※3} (千円)	3,529	3,725	195	5.5
【ご参考】 受注残組数 ^{※4} (千円)	20/10期1Q 4,663	5,269	606	13.0

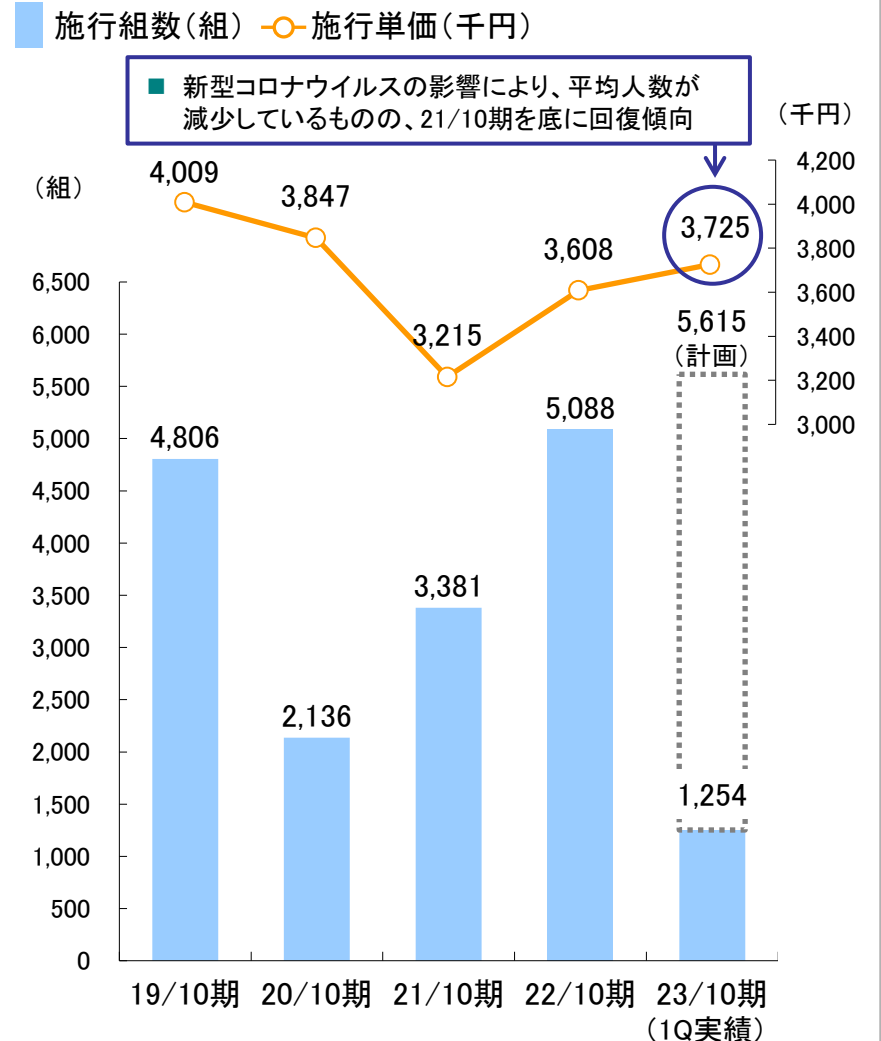
※1 海外店舗数は業務委託店舗を含む

※2 受注組数及び受注残組数は、「海外婚礼事業」の実績も含む

※3 施行単価は、「一般宴会」、「キャンセル料」、「海外婚礼事業」を除外して算出

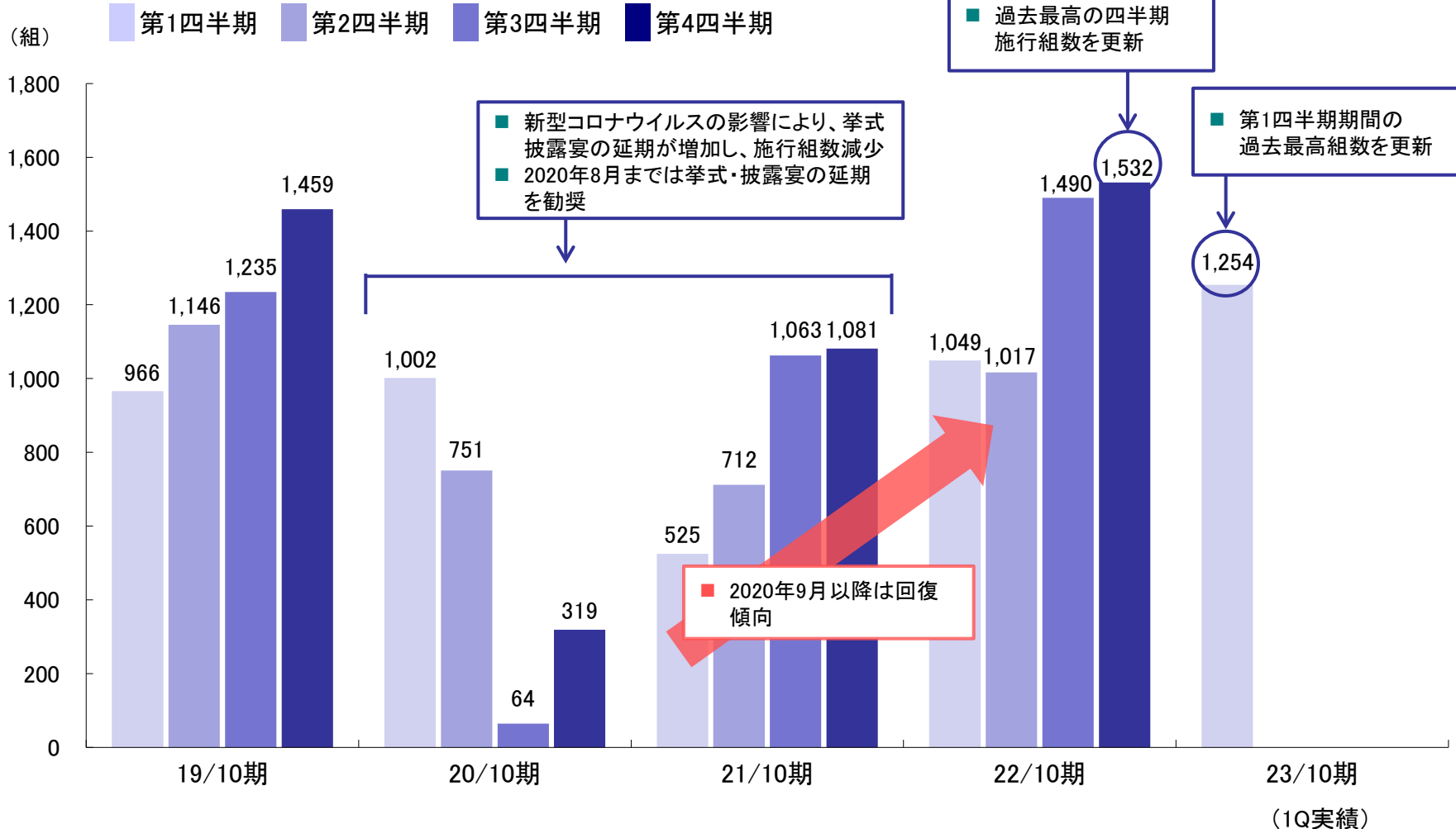
※4 コロナの影響を受ける前の直近の期間を比較情報として掲載(水戸支店他海外3店舗は受注を開始していない)

施行組数・施行単価の推移



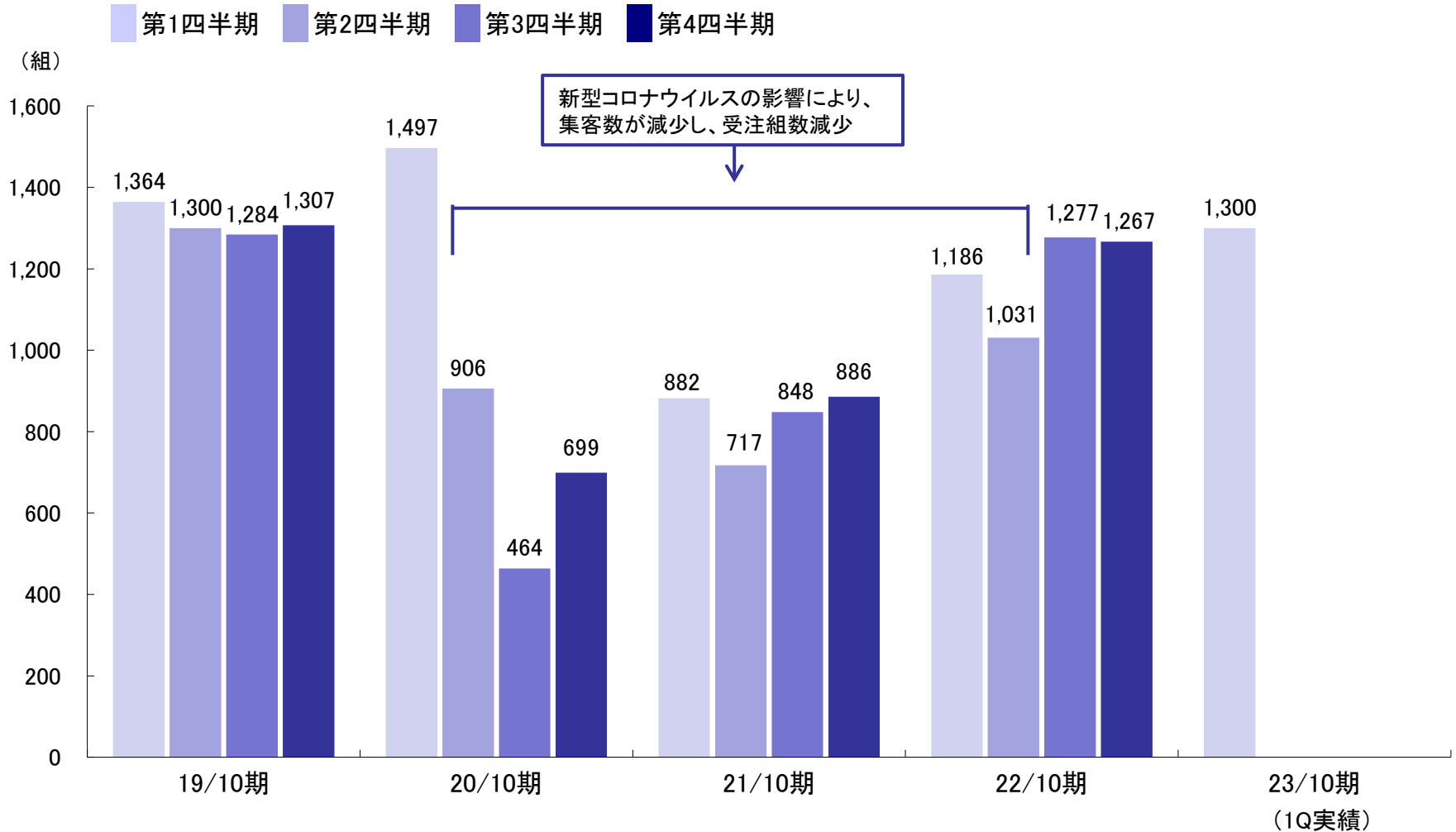
※海外事業の施行組数実績を含む

施行組数の推移



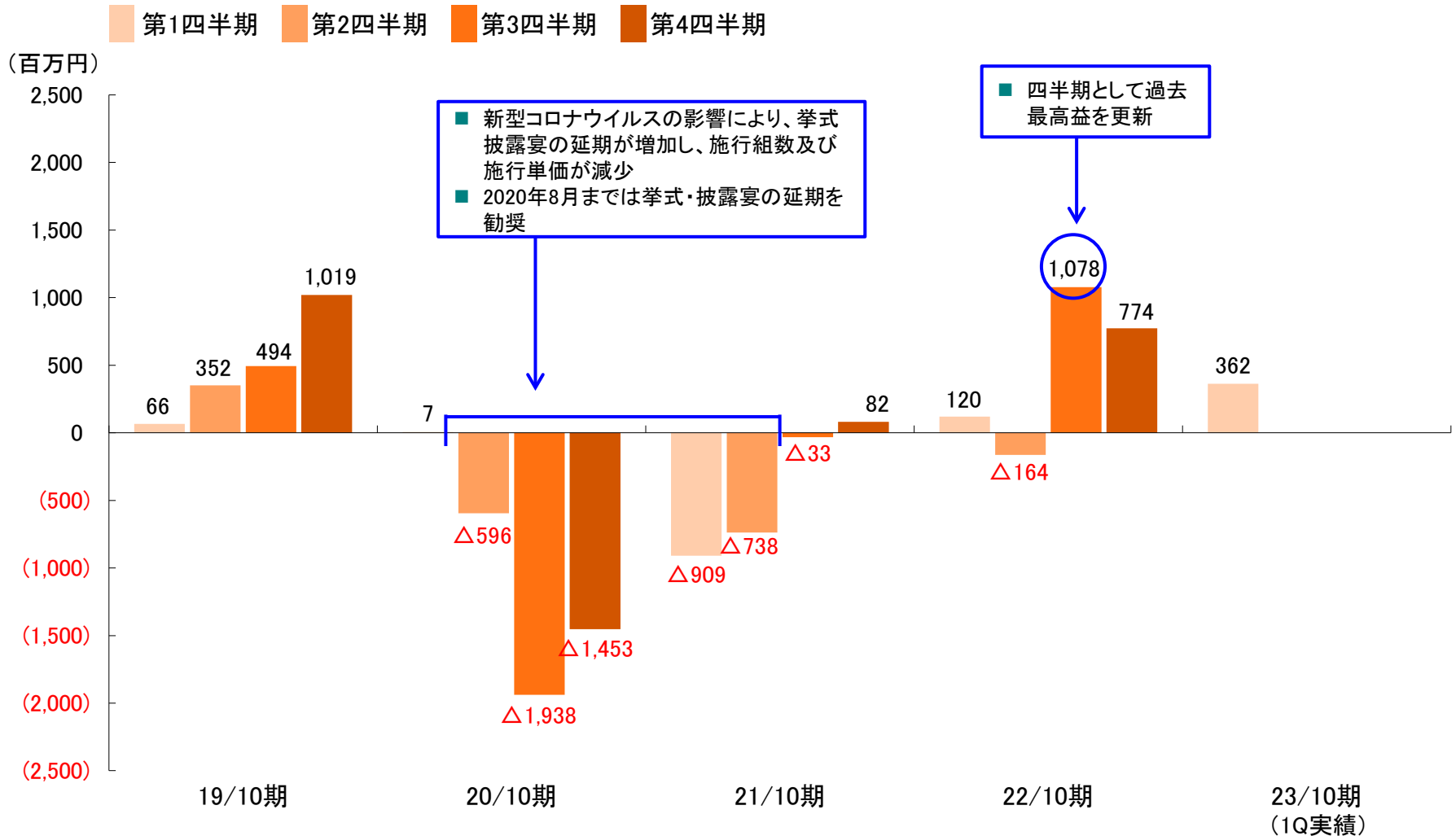
※海外事業の施行組数実績を含む

受注組数の推移

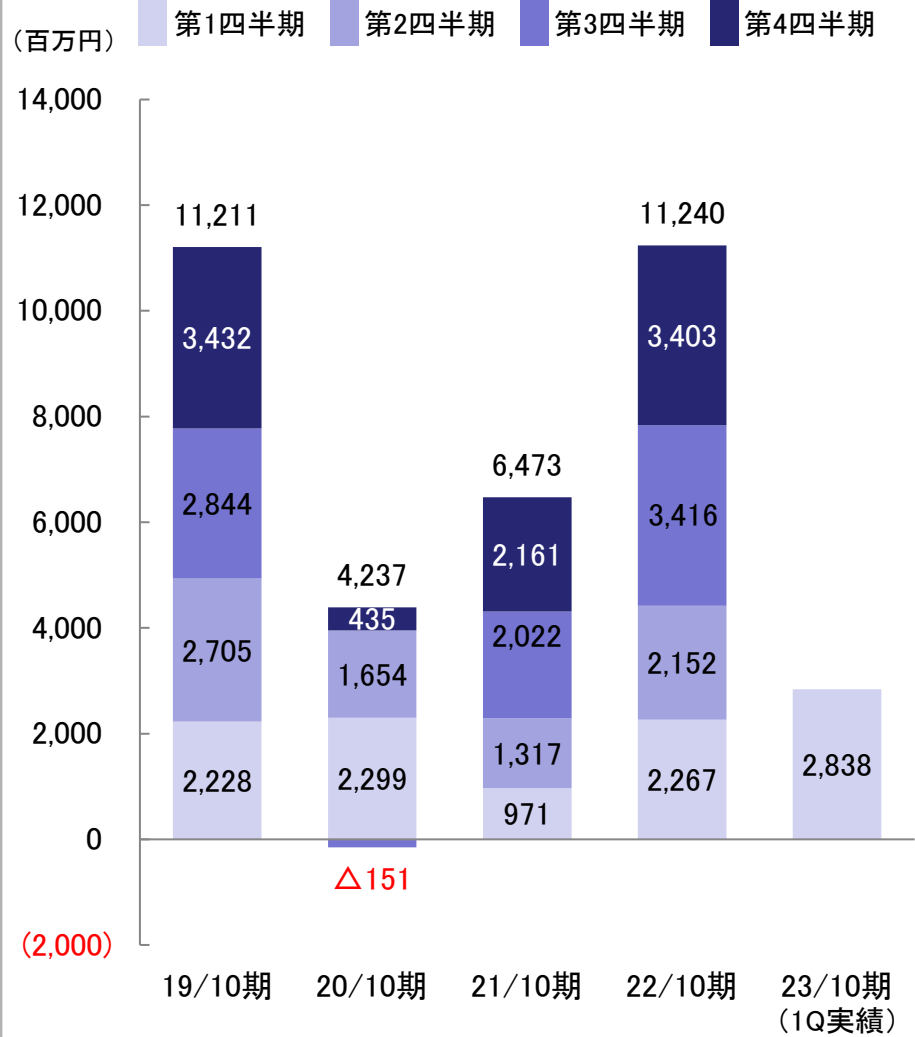


※海外事業の受注組数実績を含む

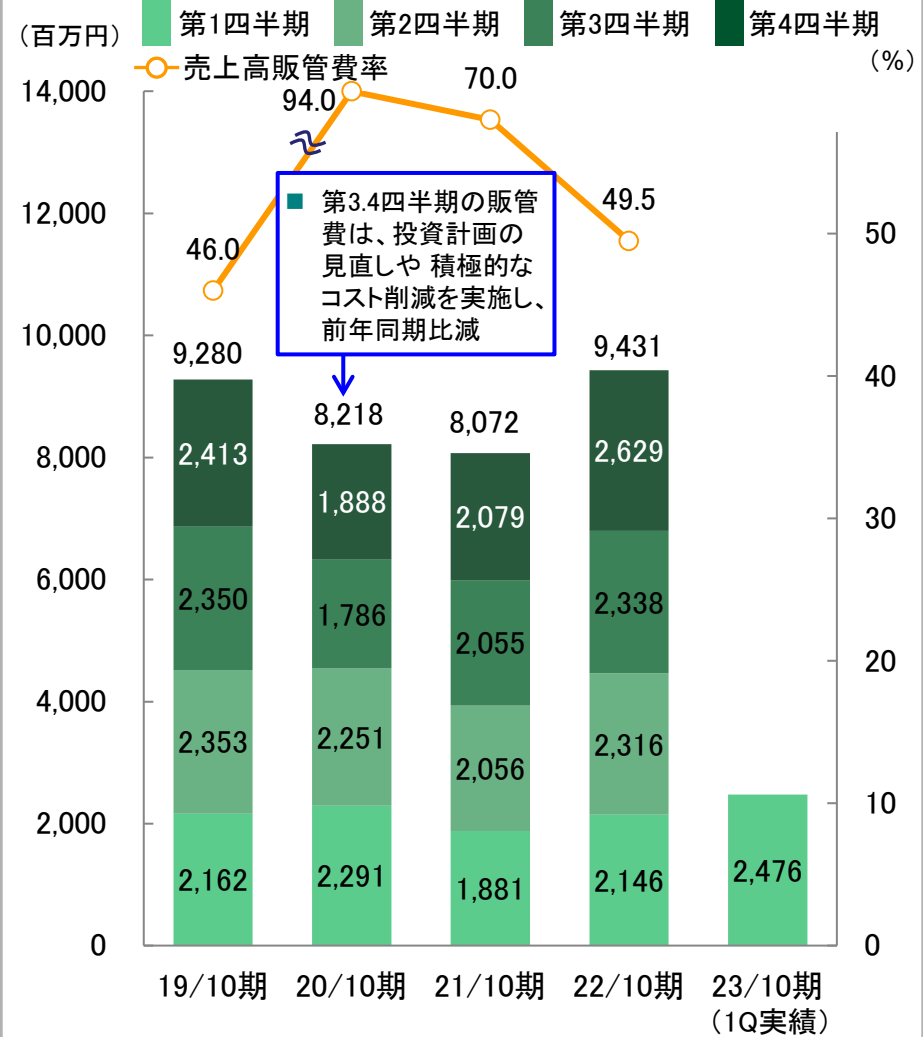
営業利益の推移



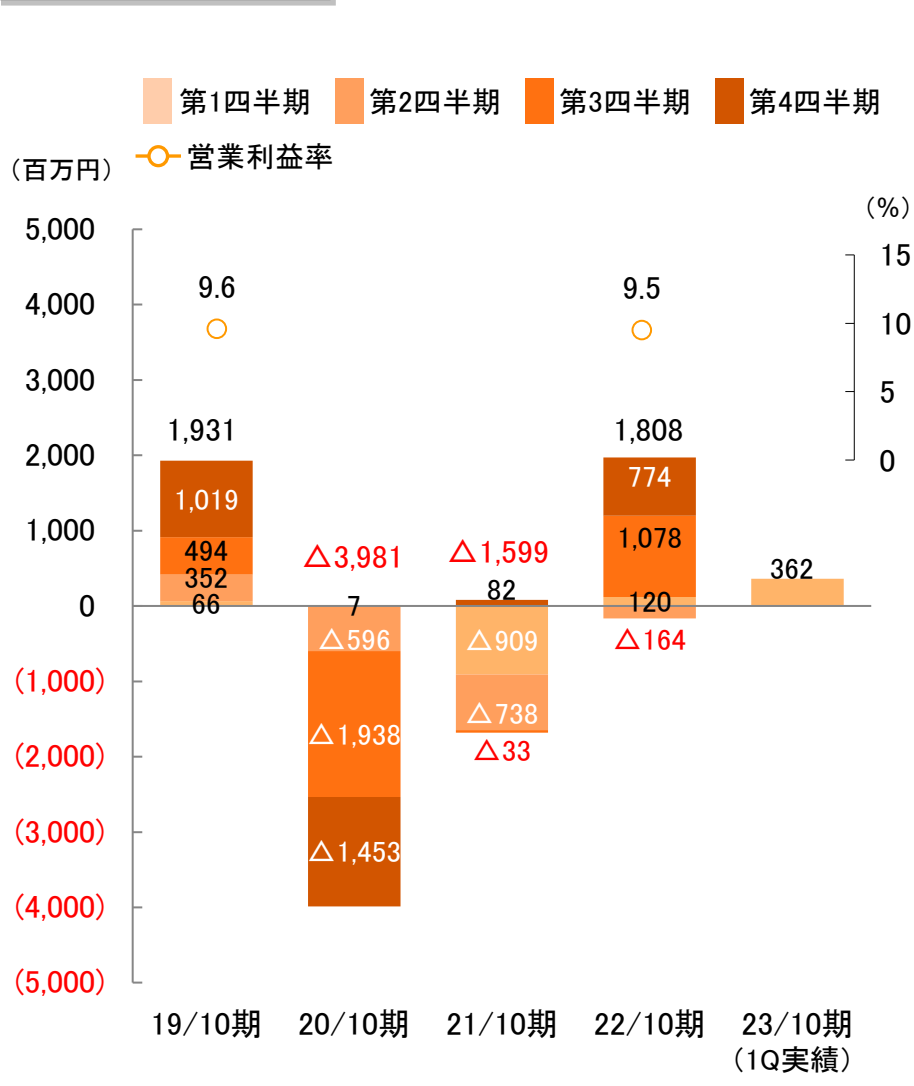
売上総利益



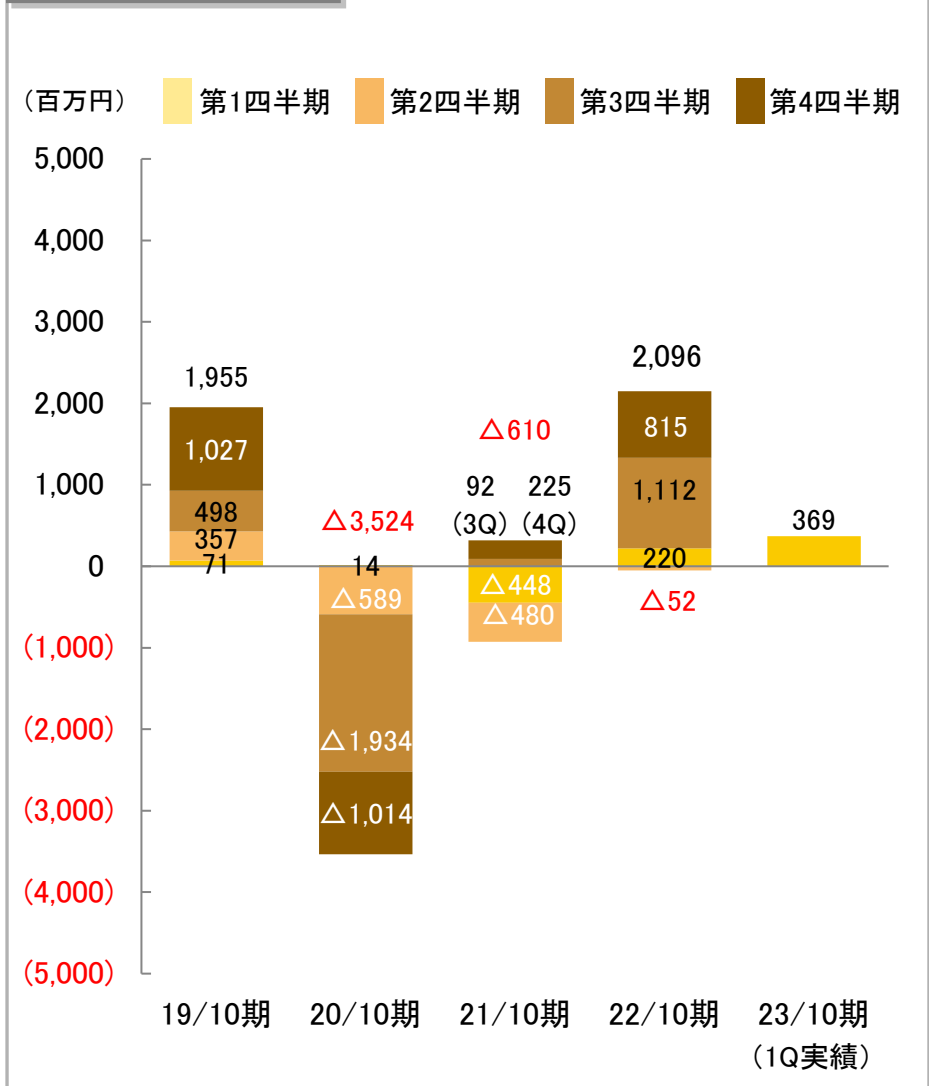
販管費



営業利益

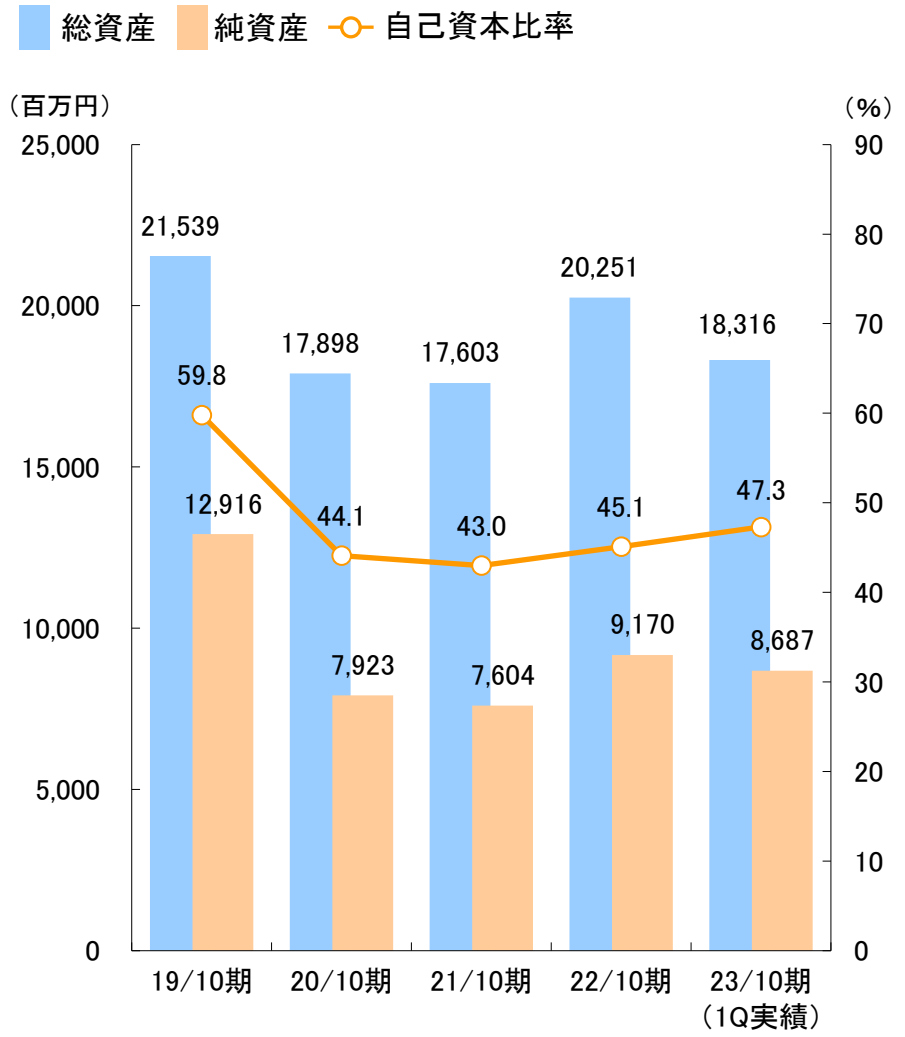


経常利益

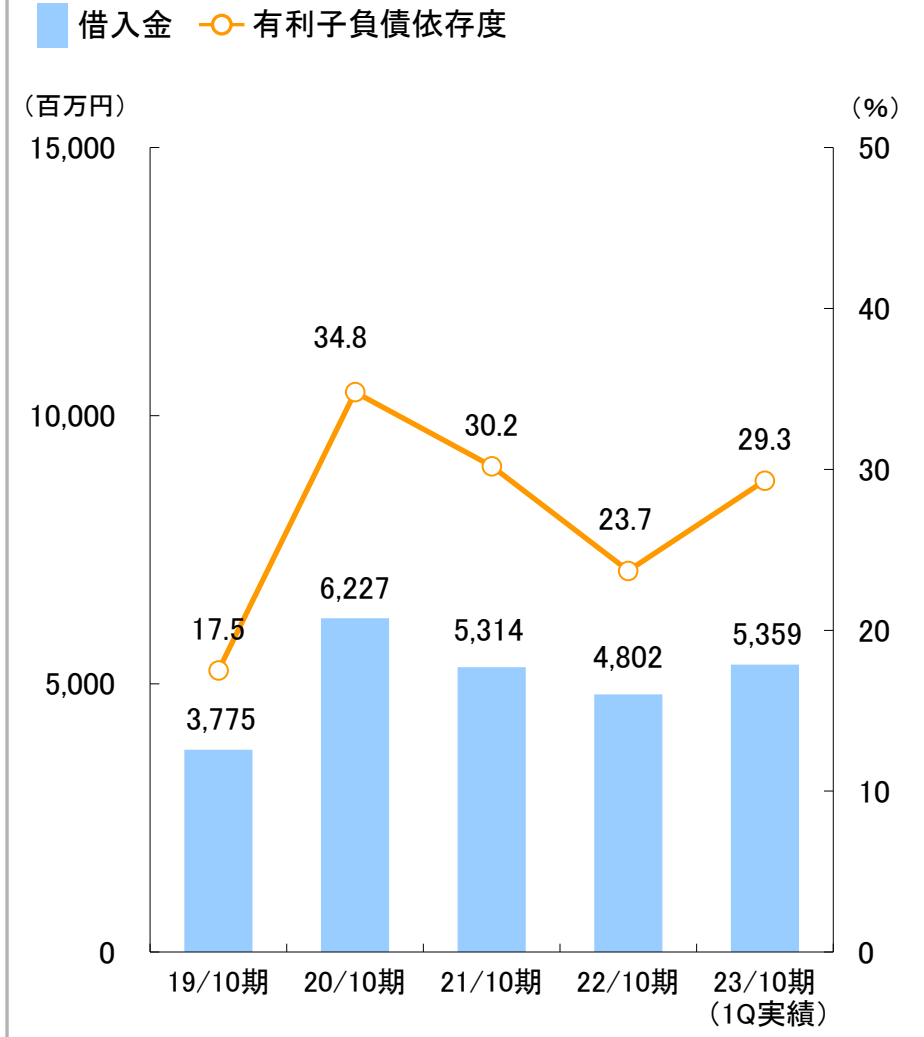


	2022年10月期末		2023年10月期 第1四半期末		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)
流動資産	7,203	35.6	5,072	27.7	▲2,130
(現金・預金)	5,891	29.1	3,974	21.7	▲1,917
(売上債権)	459	2.3	269	1.5	▲189
固定資産	13,047	64.4	13,243	72.3	195
(有形固定資産)	10,283	50.8	10,659	58.2	376
資産合計	20,251	100.0	18,316	100.0	▲1,934
流動負債	7,604	37.6	5,659	30.9	▲1,945
(仕入債務)	853	4.2	471	2.6	▲382
(未払法人税等)	785	3.9	6	0.0	▲779
固定負債	3,476	17.2	3,970	21.7	493
負債合計	11,081	54.7	9,629	52.6	▲1,451
(有利子負債残高)	4,802	23.7	5,359	29.3	557
純資産合計	9,170	45.3	8,687	47.4	▲482
負債・純資産合計	20,251	100.0	18,316	100.0	▲1,934

総資産・純資産・自己資本比率



有利子負債残高



※有利子負債依存度=有利子負債残高÷総資産

Ⅱ. 2023年10月期(通期) 連結業績見通し



コロナ禍からの回復により過去最高の施行組数を更新し、売上・利益共に過去最高を見込む

水戸支店開業に伴う先行費用の発生等を見込むも2桁増益を計画

売上高 **21,780**百万円（前期比14.3%増）

- 水戸支店は4月から施行開始
- 国内婚礼事業において、施行組数は前期比+489組の5,520組、施行単価は3,685千円を計画

営業利益 **2,200**百万円（前期比21.6%増）

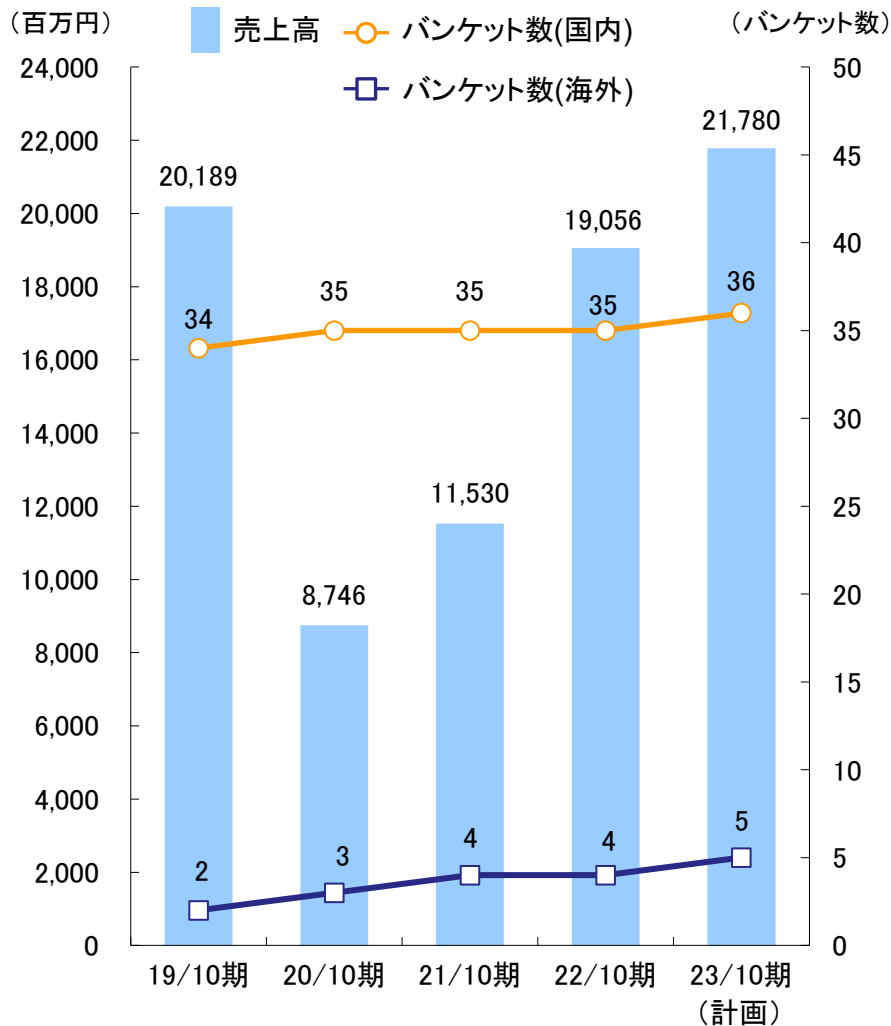
- 新規店舗である水戸支店の先行費用の発生（約200百万円）を見込むものの、コロナ禍からの回復による施行組数の増加により、2桁増益を計画

親会社株主に帰属する当期純利益 **1,500**百万円（前期比7.2%増）

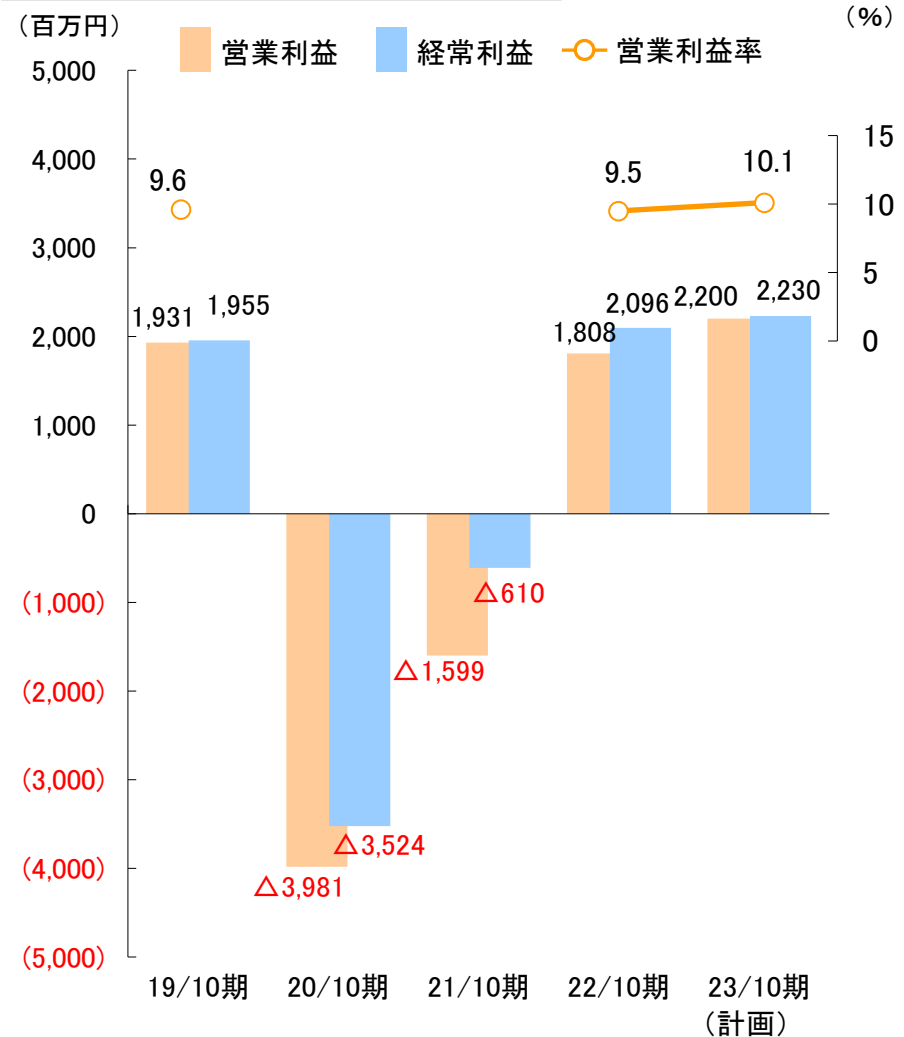
※業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の再拡大による緊急事態宣言発出等の影響は織り込んでおりません
現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく異なる可能性があります

	2022年10月期		2023年10月期			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	計画 (百万円)	構成比 (%)	前期比	
					増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	19,056	100.0	21,780	100.0	2,723	14.3
売上総利益	11,240	59.0	12,600	57.9	1,359	12.1
販管費	9,431	49.5	10,400	47.8	968	10.3
営業利益	1,808	9.5	2,200	10.1	391	21.6
経常利益	2,096	11.0	2,230	10.2	133	6.4
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,398	7.3	1,500	6.9	101	7.2
1株当たり当期純利益(円)	47.48	—	51.09	—	—	—

売上高・バンケット数の推移



営業利益・経常利益・営業利益率

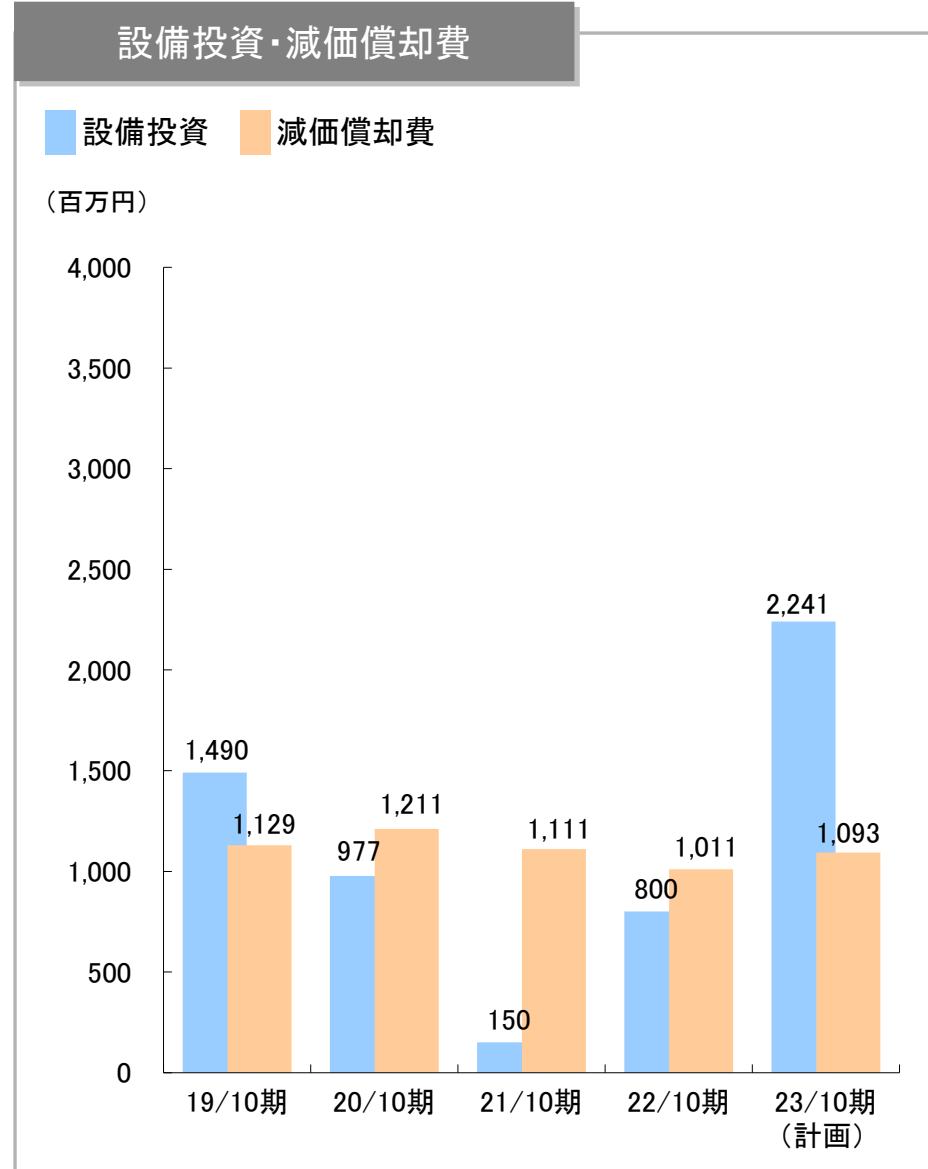


※バンケット数(海外)は、提携店のバンケットも含む

	22/10期 (実績)	23/10期 (計画)	増減
期末店舗数(国内)	19	20	1
婚礼施設 4バンケット	1	1	—
婚礼施設 3バンケット	5	5	—
婚礼施設 2バンケット	3	3	—
婚礼施設 1バンケット	6	6	—
レストラン 1バンケット	4	5	1
期末店舗数(海外)	4	5	1
婚礼施設 2バンケット	1	1	—
婚礼施設 1バンケット	3	4	1
バンケット数	39	41	2
施行組数(組)	5,088	5,615	527
国内	5,031	5,520	489
海外	57	95	38

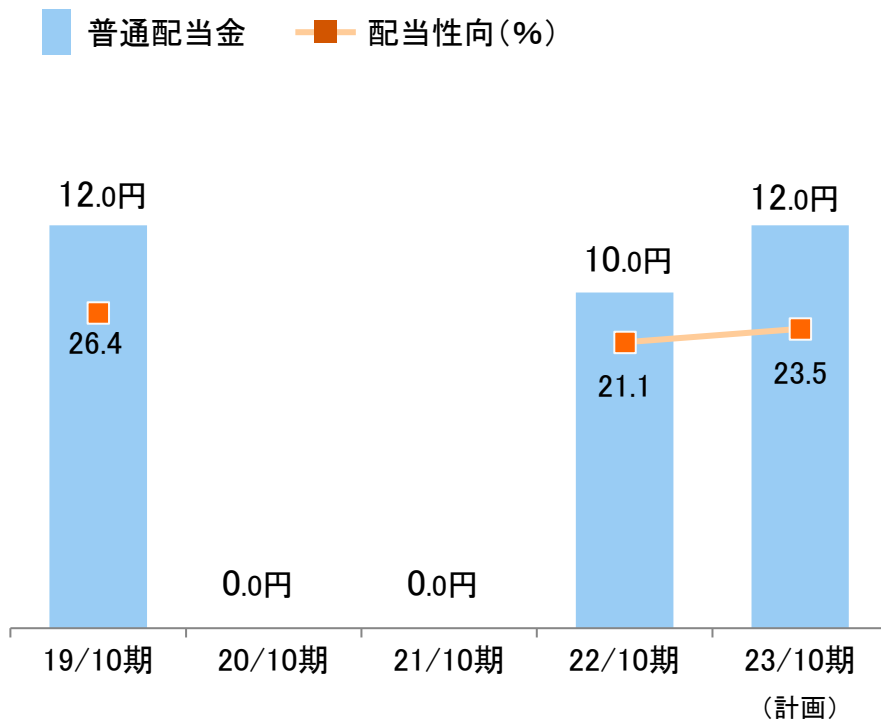
(単位: 百万円)

	22/10期 (実績)	23/10期 (計画)	増減
設備投資	800	2,241	1,441
減価償却費	1,011	1,093	82



業績の回復を踏まえ、23/10期は年12円の配当を計画

- 中長期的な事業計画と経営体質の強化を確保し、経営成績に応じた配当を実施
- 配当額については安定的かつ持続的な成長を基本方針として決定



	配当金	配当性向
19/10期	12.0円	26.4%
20/10期	0.0円	-
21/10期	0.0円	-
22/10期	10.0円	21.1%
23/10期 (計画)	12.0円	23.5%

Ⅲ. 2023年10月期の取り組み



- 1 茨城県水戸市に婚礼事業の新規店舗出店を計画
- 2 愛知県名古屋市に2店舗目となるフォトスタジオの出店を計画
- 3 佐賀県伊万里市に介護施設の出店を計画

茨城県水戸市に婚礼事業の新規店舗出店を計画

施設名 The 迎賓館 借楽園 別邸(水戸支店)

所在地 茨城県水戸市千波町2692-1 借楽園公園内

開業時期 2023年4月7日(予定)

設備 レストラン・カフェ等(予定)

最寄り駅 水戸駅

- 茨城県水戸市の「借楽園月池地区整備事業」に対し、出店応募を行った結果、当社を構成員とするグループが事業者に選定
- 日本三名園のひとつに数えられる「借楽園」の拡張部に、結婚式もできるレストラン、カフェ等の出店を予定



▲ 施設イメージパース

愛知県名古屋市に2店舗目となるフォトスタジオの出店を計画

- フォトスタジオ「studio clori. (スタジオ クロリ)」に続き、愛知県名古屋市に2店舗目となるフォトスタジオの出店を計画

施設名	studio clori. NAGOYA
所在地	愛知県名古屋市中区錦2丁目18-19
開業 予定日	2023年3月23日(予定)
設備	フォトスタジオ3施設 (セレモニー、庭園、韓国フォト)
最寄り駅	伏見駅



▲ウェディングフォトイメージ

テイストの異なるフォトスタジオを準備



▲セレモニースタジオ



▲屋内庭園スタジオ

今後も同一形態の店舗を大都市を中心に展開

- 人口50万人以上の都市をメインターゲットとして、年2-3店舗の出店を目指し、営業所の開拓を鋭意実施



佐賀県伊万里市に介護施設の出店を計画

- 佐賀県伊万里市に新たな施設「アイケアライフ伊万里」を2023年3月25日に開業予定
- 小規模多機能型居宅介護事業所として運営予定

施設名 アイケアライフ伊万里

所在地 佐賀県伊万里市脇田町川久保3451

開業時期 2023年3月25日(予定)

形態 小規模多機能型施設

延べ面積 約300㎡

サービスの特徴

- デイサービス、訪問介護、宿泊機能を有した地域密着型の施設
- 24時間365日、いつでもサービスを利用可能
- ニーズに合わせた支援を提供



▲施設外観イメージ



▲施設内観イメージ

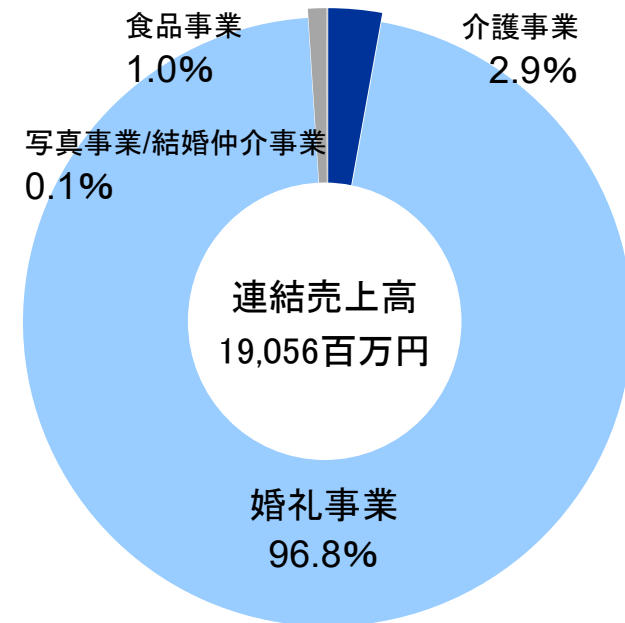
ご参考：会社概要・事業の特徴、業界動向

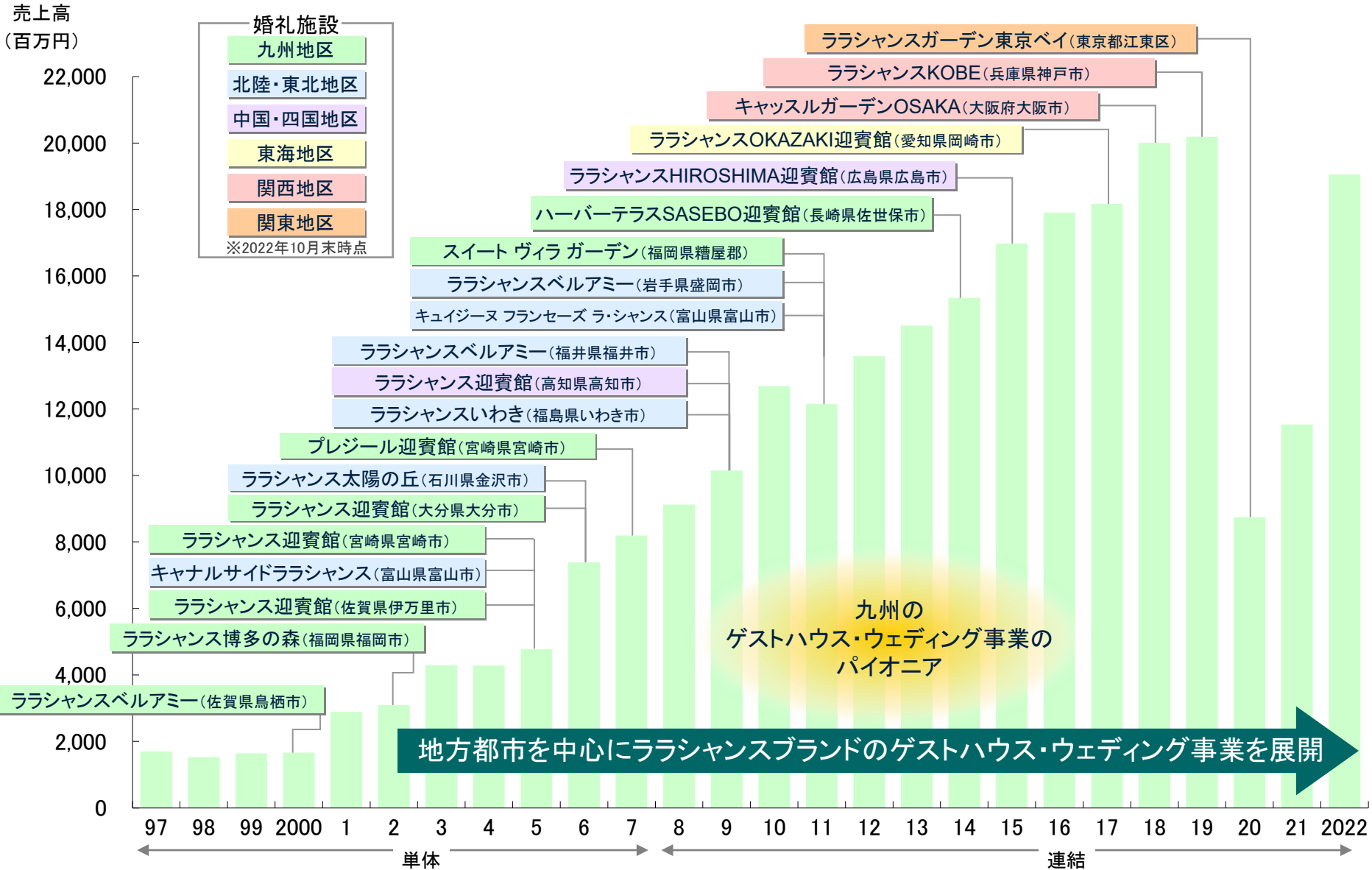


会社概要(2022年10月31日時点)

社名	アイ・ケイ・ケイホールディングス株式会社 (英文名称:IKK Holdings Inc.)
本社	佐賀県伊万里市新天町722番地5
事業内容	グループ会社の経営管理等
代表者	代表取締役会長兼社長CEO 金子 和斗志
設立	1995年11月1日
決算日	10月31日
市場区分	東証PRM(コード:2198)
資本金	351百万円
グループ会社	(婚礼事業)アイ・ケイ・ケイ株式会社 (海外婚礼事業) PT. INTERNATIONAL KANSHA KANDOU INDONESIA (介護事業)アイケア株式会社 (食品事業)株式会社明德庵 (フォト事業)Ambihone株式会社 (結婚仲介事業)ララ・クүүл株式会社
従業員数	896名(連結)
株主数	24,726名

事業別売上高構成(2022年10月期)





独自の設計コンセプトに基づいた婚礼施設を九州を基盤として全国に展開

- 自然環境と調和した独自の設計コンセプトのウェディング施設を国内17都市に19店舗を展開
- 海外事業として、インドネシア共和国 ジャカルタ市に4店舗を展開

国内ウェディング事業

東北エリア 2店舗

- ・ララシャンスイwak(福島県いわき市)
- ・ララシャンスペルアミー(岩手県盛岡市)

関東エリア 2店舗【OPEN予定】 1店舗

- ・ララシャンsgarden 東京ベイ(東京都江東区)
- 2023年4月OPEN予定**
- ・The 迎賓館 借楽園 別邸(茨城県水戸市)

東海エリア 1店舗

- ・ララシャンsoKAZAKI迎賓館(愛知県岡崎市)

中四国エリア 2店舗

- ・ララシャンsoHIROSHIMA迎賓館(広島県広島市)
- ・ララシャンso迎賓館(高知県高知市)

海外ウェディング事業

インドネシアジャカルタ 4店舗

- ・Menara Mandiri
- ・Skenoo Hall
- ・Financial Hall
- ・Artotel Suites Mangkuluhur



関西エリア 2店舗

- ・キャッスルガーデンOSAKA(大阪府大阪市)
- ・ララシャンsoKOBE(兵庫県神戸市)

北陸エリア 4店舗

- ・キャナルサイドララシャンso(富山県富山市)
- ・キュージューヌ フランセーズ ラ・シャンso(富山県富山市)
- ・ララシャンso太陽の丘(石川県金沢市)
- ・ララシャンsoペルアミー(福井県福井市)

九州エリア 7店舗

- ・ララシャンso迎賓館/伊万里迎賓館(佐賀県伊万里市)
- ・ララシャンsoペルアミー(佐賀県鳥栖市)
- ・ララシャンso博多の森(福岡県福岡市)
- ・ララシャンso迎賓館(大分県大分市)
- ・ララシャンso迎賓館(宮崎県宮崎市)
- ・プレジール迎賓館(宮崎県宮崎市)
- ・ハーバーテラスSASEBO迎賓館(長崎県佐世保市)



【使命】

ご縁ある人々の笑顔と幸せのために行動し、挑戦する！

【経営理念】

- 一. 誠実・信用・信頼
- 一. 私たちは、素直な心で互いに協力し良いことは即実行します
- 一. 私たちは、国籍・宗教・性別・年齢・経験に関係なく能力を発揮する人財(ひと)になり、素晴らしい未来を創るために挑戦します

【行動指針】

従業員の規範となる行いを定めたもの

【ビジョン】

【ビジョン2042】

一人ひとりが愛と情熱を持って、
つながり 挑戦し、お客さまがあこがれるグローバルカンパニーになる

【ビジョン2032】

一人ひとりが愛と情熱を持って、つながり 挑戦し、
お客さまの笑顔と幸せをつなぐ
日本を代表する感動創造カンパニーになる

【大戦略】

つながり 挑戦し お客さまを創造する

【戦略】

ビジョン達成のための具体策(中期経営計画)

同一仕様のチェーンオペレーションとは異なる独自の設計コンセプトに基づいた施設展開

敷地面積の平均は約 9千㎡と広大な敷地に、自然との調和を重視
太陽の光と緑に包まれた大邸宅を貸しきってのウェディング・パーティー



自然や景観と調和した広大な施設と地域の文化に合わせたサービスで
「20年間勝ち続けることができるナンバーワンの婚礼施設」へ

邸宅風の会場を貸しきり
非日常的なプライベート空間



自然溢れるガーデン
アットホームな雰囲気



お二人の個性を表現した
自由な演出



20年先を見据えた長期的な視点に基づき、出店地域の商圈に即した最適・最善な施設を開設

1バンケット

宮崎



ララシャンズ迎賓館
(宮崎市 40.0万人)

高知



ララシャンズ迎賓館
(高知市 32.2万人)

佐世保



ハーバーテラスSASEBO迎賓館
(佐世保市 24.3万人)

宮崎



プレジール迎賓館
(宮崎市 40.0万人)

富山



キューズヌ フランセーズ ラ・シャンズ
(富山市 41.1万人)

大阪



キャナルガーデンOSAKA
(大阪市 273.2万人)

大分



ララシャンズ迎賓館
(大分市 47.7万人)

盛岡



ララシャンズベルアミー
(盛岡市 28.5万人)

神戸



ララシャンズKOBE
(神戸市 151.7万人)

東京



ララシャンズガーデン 東京ベイ
(江東区 52.5万人)

水戸



水戸支店(The迎賓館借楽園別邸)
(水戸市 27.1万人)

2バンケット

いわき



ララシャンズいわき
(いわき市 31.4万人)

福井



ララシャンズベルアミー
(福井市 25.9万人)

岡崎



ララシャンズOKAZAKI迎賓館
(岡崎市 38.5万人)

3バンケット以上

鳥栖



ララシャンズベルアミー
(鳥栖市 7.4万人)

富山



キャナルサイドララシャンズ
(富山市 41.1万人)

伊万里



ララシャンズ迎賓館
(伊万里市 5.3万人)

金沢



ララシャンズ太陽の丘
(金沢市 44.8万人)

広島



ララシャンズHIROSHIMA迎賓館
(広島市 118.9万人)

福岡(4バンケット)

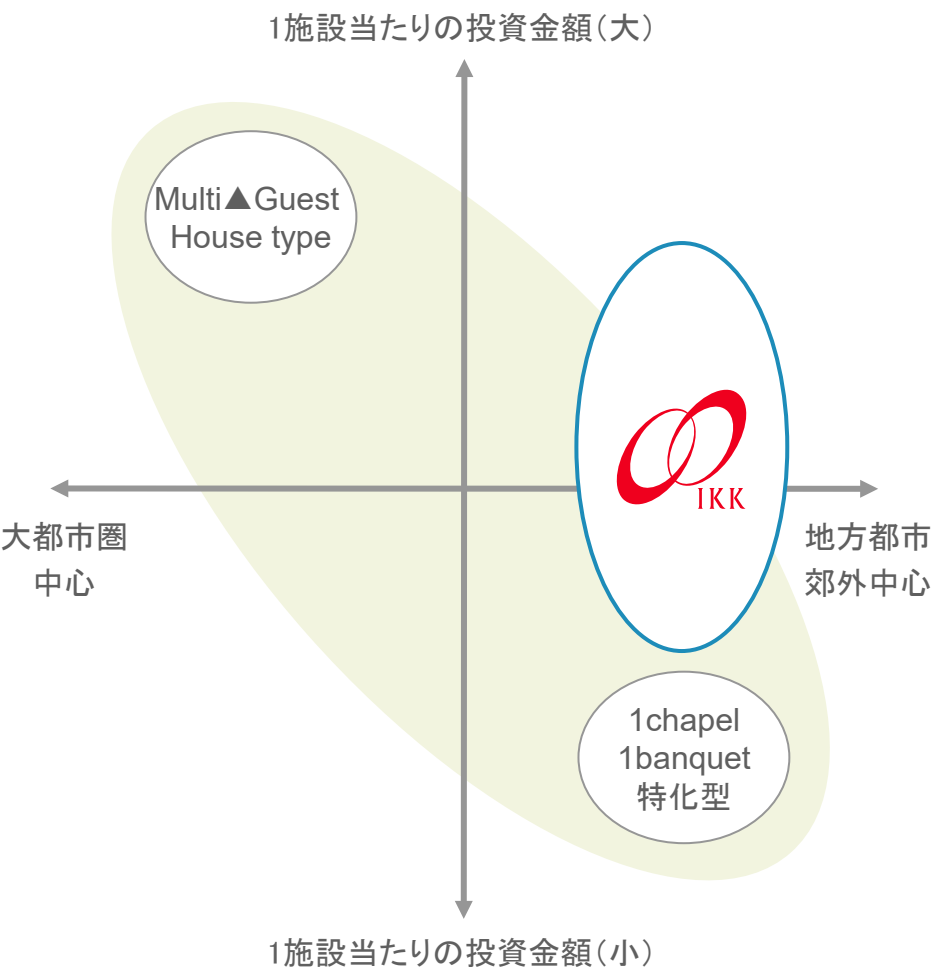


ララシャンズ博多の森
(福岡市 156.8万人)

福岡市、広島市、大阪市、神戸市、東京都江東区以外は、
全て人口50万人以下の地方都市に出店

()内は当社出店都市人口 出所: 国土地理協会「令和4年(2022年)住民基本台帳 人口・世帯数表」より

小規模商圈で培ってきた経営ノウハウ(立地・集客・運営 等)と実績を武器に地方都市中心に出店

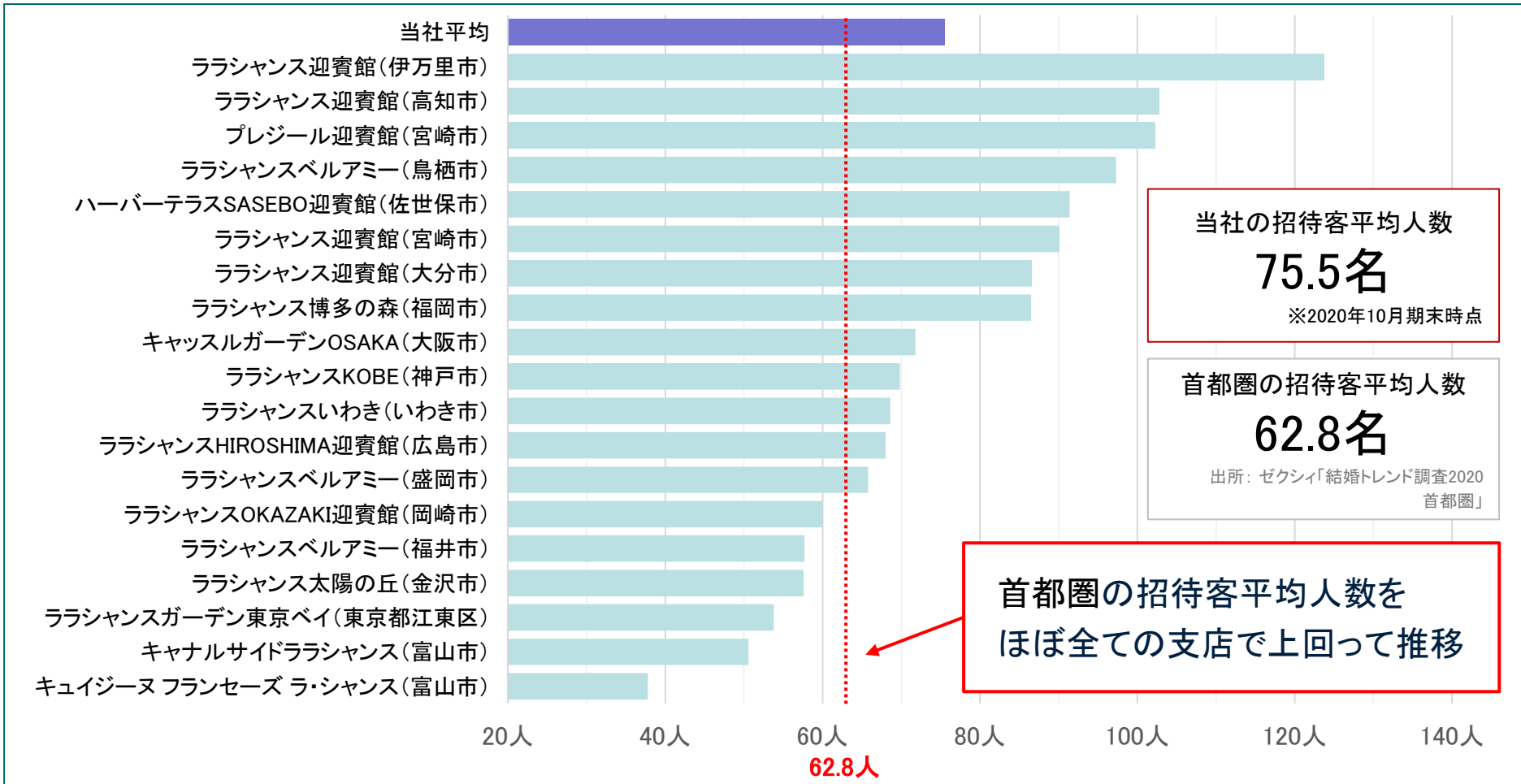


	大都市 (例:東京)	地方都市 (例:九州)
商 圏	大	小～中
競合状況	厳	緩
ランニングコスト (地代・広告宣伝費等)	高	安
自然環境	悪	良
口コミ	影響 小～中	影響 大

地方都市は小規模商圈ではあるが、披露宴・披露パーティの招待客人数が多い

当社の招待客平均人数と施設毎の招待客平均人数(降順)

※2020年度の実績で比較(コロナ前)



最高の感動を創りあげることで“お客さまがお客さまを呼び込む好循環サイクル”を構築

地域で評判の美味しい料理



世界大会で活躍したメダリストが複数名在籍



ホスピタリティ溢れるサービス



一生に一度の結婚式(晴れの日)を演出する自然溢れる非日常空間



当社の運営するレストランにおいて、2店舗がミシュラン一つ星店舗として掲載

キュージューヌ フランセーズ ラ・シャンス(富山県富山市)

- 富山県の星付きレストラン20店舗のうちの一つとして掲載
- 自然豊かな富山県富岩運河環水公園の運河沿いに建つロケーションも魅力



©MICHELIN

▲ミシュランガイド北陸2021 特別版※

ハーバーテラスSASEBO迎賓館(長崎県佐世保市)

- 佐世保市で唯一星付きレストランとして掲載
- 複合商業施設「させぼ五番街」内にあり、佐世保駅から徒歩1分の好立地



©MICHELIN

▲ミシュランガイド福岡・佐賀・長崎 2019 特別版※

※日本ミシュラン株式会社が「おいしい料理を星の数で表す」評価法でまとめた美食ガイドブックで、ホテル・レストラン業界の専門知識を持つ選任のミシュランガイドの調査員達によって、匿名で実施。評価基準は「素材の質、料理技術の高さ、独創性、価値に見合った価格、常に安定した料理全体の一貫性」の5つ。これら基準を基に評価の高い順に、三つ星、二つ星、一つ星の星が付けられる

国内外で実施されているウェディングフォトコンテストにおいて、数々の実績

第20回ゼクシウウェディングフォトコンテスト 大賞作品



新婦さまがお支度をされているのを不思議そうに見ていたお子さまに、紅差しをして頂いたシーンです。将来ぜひ、お子さまが花嫁になった際にこの写真を見返し、思い出して紅差しをしていただければ幸せです。

タイトル「紅差し 現在～未来」

第22回ゼクシウウェディングフォトコンテスト 大賞作品



前撮りをしてから1年、延期中に誕生されたお子さまが結婚式ではリングボーイを担当しました。リハーサルの際に、ご親族の皆さまがお子さまのかわいらしい姿を笑顔で迎える様子が印象的で、最高の瞬間を取ることができました。

タイトル「リングボーイ」

フォトグラファーの受賞歴

2017年

第17回ゼクシウウェディングフォトコンテスト 大賞、入賞3名
 ジャパン・ウェディングフォト・グランプリ 5位、入賞4名
 ウェディングフォト・アワード2017 金賞2名

2018年

第18回ゼクシウウェディングフォトコンテスト 大賞、入賞5名
 ジャパン・ウェディングフォト・グランプリ 8位、10位、入賞2名
 ウェディングフォト・アワード2018 金賞1名

2019年

WPPI2019 Annual 入選3名(4作品)
 第19回ゼクシウウェディングフォトコンテスト 入選3名
 ウェディングフォト・アワード 金賞6名、ふるさとウェディング特別賞1名
 AsiaWPA2019 1st half First Place1名、入選3名
 ジャパン・ウェディングフォト・グランプリ 入賞7名

2020年

WPPI2020 Annual 入選2名(3作品)
 AsiaWPA2019 Annual Grand award 2名、入賞1名
 第20回ゼクシウウェディングフォトコンテスト 大賞、入賞2名

2021年

ジャパン・ウェディングフォト・グランプリ 4位、10位
 AsiaWPA2020 Annual Silver award 4名、Bronze award 5名
 第21回ゼクシウウェディングフォトコンテスト 優秀賞1名、入選2名
 WPPI2021 THE ANNUAL 入選3名

2022年

第22回ゼクシウウェディングフォトコンテスト 大賞、入賞2名
 ジャパン・ウェディングフォト・グランプリ2022 1位、3位、4位、8位

理念を基にした人財育成がプランニング力の向上に寄与

グッドウェディングアワード2019 ソウル賞



結婚式のテーマ: Only to day

「Only to day」というかけがえのない一瞬をテーマに結婚式をプランニング。参加されたそれぞれの方の今日この日にしか伝えられない想いを軸に装飾や演出を実施、感謝や伝えたい言葉が感動の輪となり広がりました。

グッドウェディングアワード2021 準グランプリ



結婚式のテーマ: piece of journey ~ 愛を浴びて ヒカリカガヤク ~

コロナ禍の中で悩まれた末、挙式のみをご選択。その選択が心からよかったと思えるよう、演出やサプライズを企画。結婚式という特別な空間だからこそ生まれる感動と、祝福に包まれた1日は、お二人の人生のパズルにおいてヒカリカガヤク1ピースとなりました。

プランナーの受賞歴

2011年

グッドウェディングアワード2011 ソウル賞
グッドウェディングアワード2011 ファイナリスト進出(上位8名)

2013年

第2回ふるさとウェディング・コンクール 入賞

2014年

グッドウェディングアワード2014 準グランプリ
グッドウェディングアワード2014 クリエイティブ賞

2015年

グッドウェディングアワード2015 クリエイティブ賞

2016年

第5回ふるさとウェディング・コンクール ブライダル産業新聞社賞

2017年

第6回ふるさとウェディング・コンクール ブライダル産業新聞社賞

2018年

第7回ふるさとウェディング・コンクール ブライダル産業新聞社賞

2019年

グッドウェディングアワード2019 ソウル賞

2021年

グッドウェディングアワード2021 準グランプリ

優秀な「人財」の採用と育成への取り組みが結実

- マイナビ・日経の就職企業人気ランキングの所在地別、九州・沖縄エリアで毎年上位にランクイン
- 業種別就職企業人気ランキング[冠婚葬祭]においては、5年連続で第1位に選出
- 全国を対象とした文系総合就職企業人気ランキングにおいても、第80位に選出

■ 本社所在地域別就職企業人気ランキング [九州・沖縄]: 上位5位 ※対象人数2,679名

順位	企業名	得票数	昨年順位
1	西日本シティ銀行	154	3
2	ふくおかフィナンシャルグループ	152	2
3	アイ・케이・ケイホールディングス	132	1
4	西原商会	103	3
5	コスモス薬品	99	13

■ 本社所在地域別就職企業人気ランキング結果の5ヶ年推移



■ 業種別就職企業人気ランキング [冠婚葬祭]: 上位3位

順位	企業名	得票数
1	アイ・케이・ケイホールディングス	132
2	高見 (TAKAMI BRIDAL)	44
2	テイクアンドギヴ・ニーズ	44

■ 業種別就職企業人気ランキング結果の5ヶ年推移



■ 調査対象 2023年3月卒業見込みの全国大学3年生、大学院1年生 ■ 調査期間 2021年12月1日～2022年3月20日 ■ 調査方法 就職情報サイト「マイナビ2023」およびマイナビ発行の就職情報誌、マイナビ主催のイベント会場等でアンケート告知を行い、WEB上のアンケートフォームで回収。*企業人気ランキングは5社連記方式、*選社理由は1社につき2項目を選択する複数回答 ■ 有効回答 33,159名

※大学生就職企業人気ランキング調査結果をもとに作成

優秀な「人財」の採用と育成への取り組みが評価

- 就職や転職のためのジョブマーケット・プラットフォームを運営する「OpenWork(オープンワーク)」が実施した調査レポートにおいて、ランキング上位に選出

<サービス業界>

顧客満足につながる「社員満足」ランキング

順位	企業名	スコア合計
1	株式会社Plan・Do・See	9.90
2	株式会社リクルートゼクシィなび	9.57
3	株式会社オリエンタルランド	9.50
4	アイ・ケイ・ケイ株式会社	9.43
5	スターバックスコーヒージャパン株式会社	9.39
6	米国三越株式会社	9.10
7	アニヴェルセル株式会社	9.06
8	株式会社ドコモCS	8.93
9	株式会社丸井	8.89
10	株式会社ベルパーク	8.86

- 社員として1年以上在籍した企業について500文字以上の自由記述項目と8つの評価項目に回答したレポートを集計
- サービス業界の会社評価レポートのうち回答者数が25人以上ある企業が対象(集計期間: 2007年7月~2018年5月)

「女性の成長環境がある企業ランキング」

順位	企業名	成長環境スコア
1	P&G ジャパン合同会社	26.295
2	グーグル合同会社	26.190
3	株式会社リクルートマネジメントソリューションズ	25.594
4	ゴールドマン・サックス証券株式会社	25.436
5	サントリーホールディングス株式会社	25.403
6	株式会社セールスフォース・ドットコム	25.222
7	アイ・ケイ・ケイ株式会社	25.215
8	株式会社コスモスイニシア	25.026
9	JPモルガン証券株式会社	25.014
10	プルデンシャル生命保険株式会社	24.940

- 「OpenWork」に投稿された女性社員による会社評価レポート185,201件のうち、回答者数が30人以上ある企業1,281社が対象データ(集計期間: 2007年7月~2021年7月)
- キャリア成長を測る上で重要となる「人事評価の適正感」「20代成長環境」「人材の長期育成」「待遇面の満足度」「社員の士気」の5段階スコアに加えて、「女性の働きやすさ」と「働きがい・成長」のフリーアンサーを機械学習によって解析し、スコア化

※ランキングの評価点・クチコミ件数などは集計時点の数値となるため、「OpenWork」各企業ページで掲載している数値と異なる場合があります

働きがいのある会社を選定 特に評価の高かった項目について

- Great Place to Work(R)Institute Japanが実施した2019年「働きがいのある会社」ランキングまで2013年から7年連続の選出
- 年に一回の従業員へのアンケートを基に、働きがいのある環境を整える



- この会社では、従業員は責任ある仕事を任されている **90%** (平均※86%)
- 経営・管理者層は、会社のビジョンとその実現プロセスを明確にしている **85%** (平均※78%)



- 私たちが会社全体で成し遂げている仕事を誇りに思う **87%** (平均※80%)
- この会社は、地域や社会に貢献していると思う **88%** (平均※76%)



- この会社では、何か特別なことがあれば、皆で祝っている **88%** (平均※84%)
- 一体感を感じることができる会社である **77%** (平均※72%)

※2019年「働きがいのある会社」ベストカンパニー中企業平均

女性が活躍し、働きやすい環境整備を推進

- 女性社員の働きやすい環境づくりを推進
- 働きやすい職場環境づくりが評価され日本政策投資銀行「DBJ健康経営格付」の融資格付をウェディング業界“初”の取得

- 女性の役員比率は**25.0%**、支配人比率は**23.8%**、理念に基づく人事考課を基に、抜擢人事を実施
- **16日間**の連続休暇制度を制定し、有給休暇取得を奨励
- メンタルヘルス担当窓口を設置し、自由回答形式の社内アンケート調査を定期的実施することで、従業員の声を吸い上げ改善に着手
- 通常健康診断に加え、血液検査の実施と婦人科健診の補助を実施する他、GLTD(団体長期障害所得補償保険)制度を福利厚生の一環で導入(2022年11月より)

※ DBJ健康経営格付の概要

日本政策投資銀行独自の評価システムにより、従業員の健康配慮への取り組みの優れた企業を評価・選定し、その評価に応じて融資条件を設定するという「健康経営格付」の専門手法を導入した世界で初めての融資メニュー



ホテル業界・婚礼業界で初めて食品安全マネジメントシステムの国際規格「ISO22000:2005」の認証を取得

顧客に対する「安全・安心」を調理業務の最優先事項と位置づけて安全対策を強化

- ◆ 食品事故の未然防止や食品管理体制に対する企業責任を果たすために、食品衛生管理基準 (PRP) に基づく衛生標準作業手順書 (SSOP) の作成及び運用に注力

料理とサービスの連携で「食品安全マネジメントシステム (FSMS)」を構築

- ◆ 安全な食材・食品を仕入れるために仕入先への製品仕様書を要求
- ◆ 安全な料理を提供するために調理プロセスを徹底的に管理し、継続的に記録
- ◆ スタッフ全員が構築したFSMSの管理の水準を厳守
- ◆ 「ララシャンス博多の森」の3施設において「ISO22000:2005」の認証取得 (2009年8月)
 ※2021年6月の再認証審査を実施し、「ララシャンス博多の森」の4施設 (ヴィラ・フォーレ、シェ・ラ・フォーレ、グラン・ヴァンベール及び博多の森迎賓館) で認証取得
- ◆ 同施設以外の全店舗にもFSMSの管理水準を展開

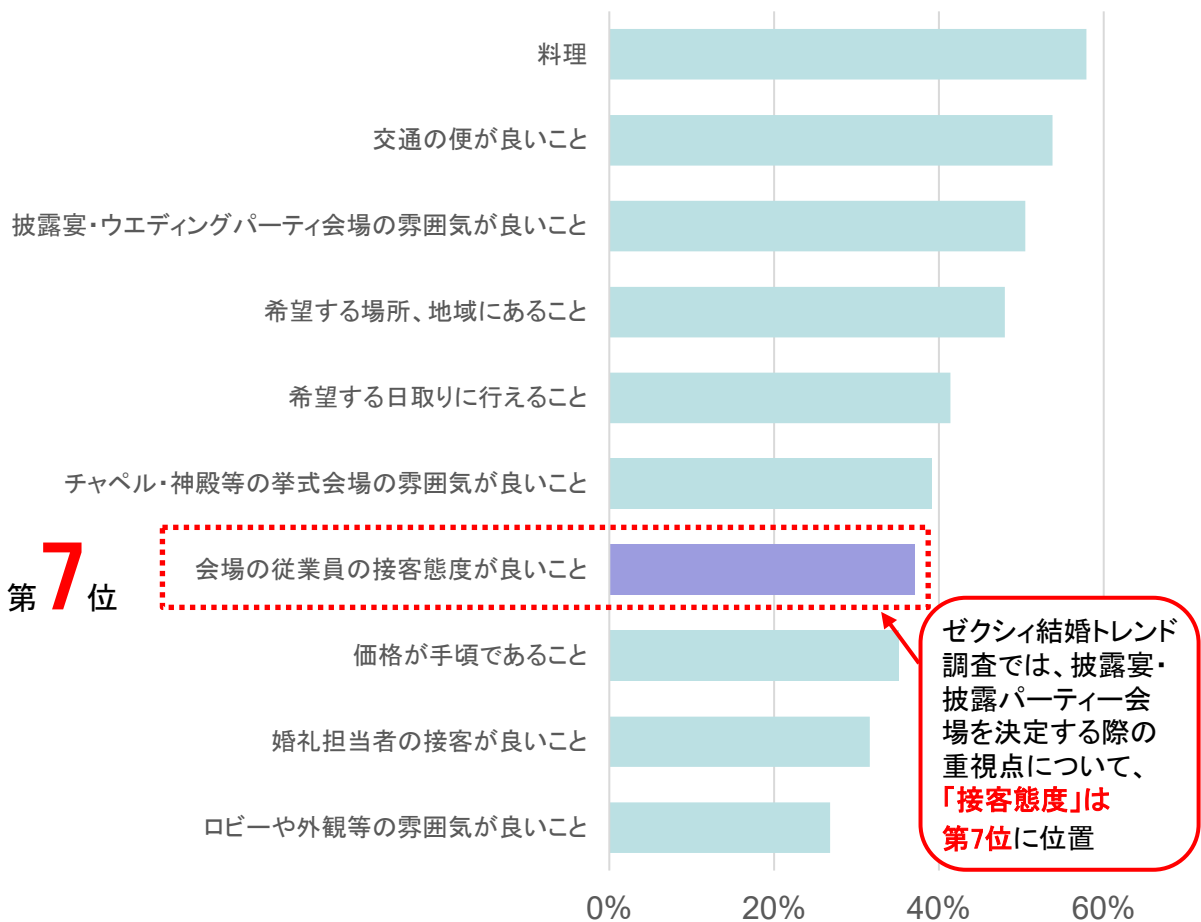


FSMS:548713 / ISO22000:2018

「ISO22000」: HACCPの食品衛生管理手法と品質マネジメントシステムの国際規格「ISO9001」の品質管理手法を組み合わせた食品安全マネジメントシステムの国際規格

当社をご利用される多くのお客さまが接客態度(接客担当者)を評価

ゼクシィ結婚トレンド調査2020
披露宴・披露パーティ会場を決定する際の重視点



第7位

ゼクシィ結婚トレンド調査では、披露宴・披露パーティー会場を決定する際の重視点について、「接客態度」は第7位に位置

出所:ゼクシィ結婚トレンド調査2020 首都圏「決定時の重視点」の割合の高い順に記載

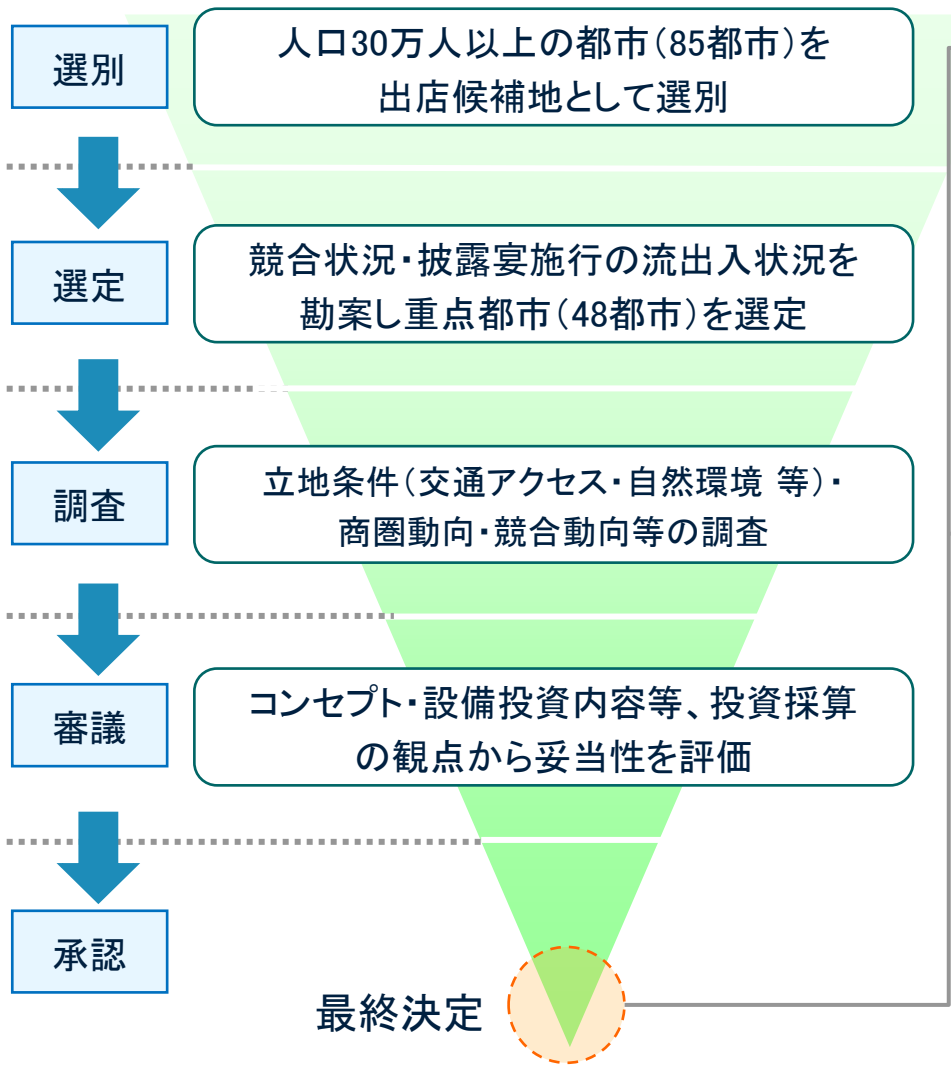
当社の決定理由における接客態度の順位	順位
伊万里支店	1位
鳥栖支店	1位
福岡支店	1位
富山支店	1位
宮崎支店	1位
大分支店	2位
金沢支店	1位
宮崎2支店	1位
いわき支店	2位
高知支店	1位
福井支店	1位
盛岡支店	1位
富山レストラン支店	2位
佐世保支店	1位
広島支店	1位
岡崎支店	1位
大阪支店	2位
神戸支店	2位

出所:20/10期末当社調べ

※新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前のアンケート結果を採択

- 積極的な人財育成の成果として、当社施設の利用を決定する理由の上位が「接客態度」
- 半数以上の支店で接客態度が決めての第1位

長期・安定的な店舗運営のために「20年間勝てる施設」を前提に“慎重なうえにも慎重に出店を決定”



- **地方都市の優良物件に展開**
自然環境と調和のとれた、自然豊かな優良物件に出店

小商圈での営業ノウハウが強み



大分支店



金沢支店

- **小商圈で培った営業ノウハウを生かし大都市にも出店**

当社の強みを生かせる大都市圏への出店スキームも構築

3大都市圏への出店も進める



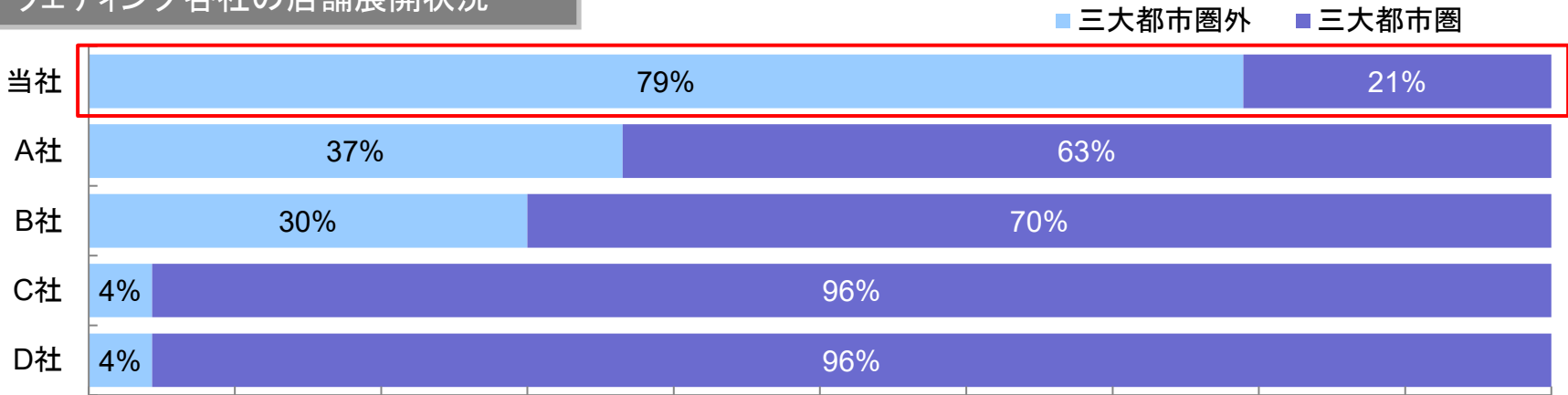
大阪支店



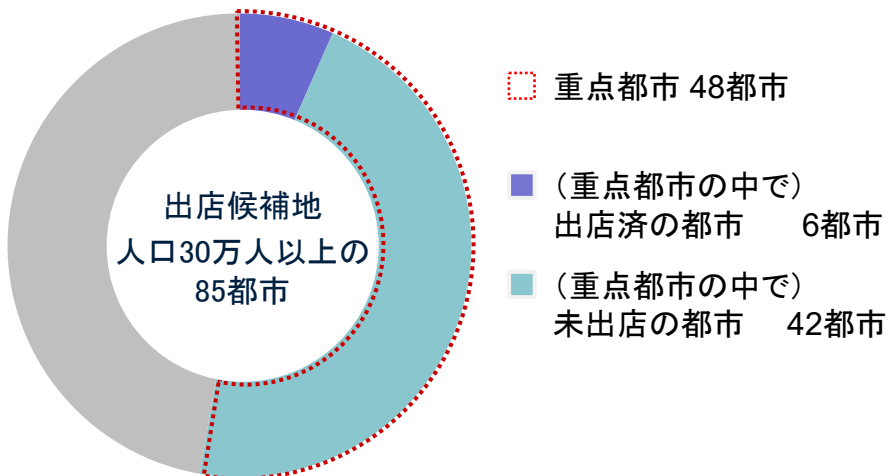
東京支店

三大都市圏への大きな出店余地を背景に中長期的な成長を継続

ウェディング各社の店舗展開状況



当社の出店状況



年間1~2店舗の出店を予定
大きな出店余地を背景に、
中長期的な成長を継続

出所：各社説明資料より当社作成

海外展開戦略の第一歩としてインドネシアにウェディング事業を展開

- 日本でのウェディングノウハウを海外展開
- 現地顧客を対象としたウェディングサービスを提供
- 優良案件の調査を継続



商号	PT INTERNATIONAL KANSHA KANDOU INDONESIA		
所在地	インドネシア共和国 ジャカルタ市	設立	2017年1月
資本金	500億ルピア	営業開始	2017年2月



▲ 会場装飾の様子



▲ 新婦さまの民族舞踏の演出



▲ 立食形式のパーティー会場

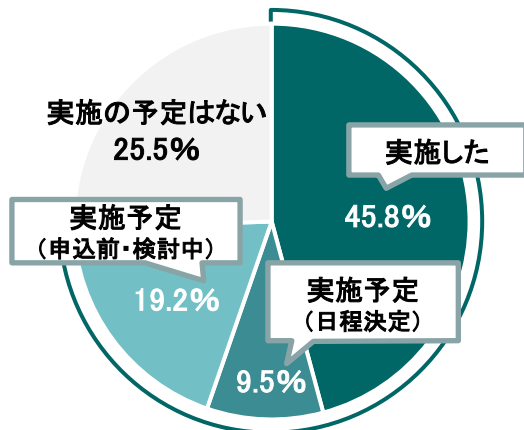
フォトコンテスト実績多数のフォトグラファー集団を軸に、フォトウェディング市場へ参入

- ご家族の大切な思い出を未来に届けるフォト事業に参入、国内外で多数の受賞歴を持つフォトグラファー集団による撮影
- 記念写真需要等を取り込むことも視野



市場環境

フォトウェディング・前撮り実施率
74.5%



※ 出所：フォトウェディング動向調査2022(Photorait)
「あなたは、フォトウェディング・前撮りを実施しましたか」
(単一回答/n=4,335) 2021年4月～2022年3月に結婚した18～49歳の既婚者を対象として実施

2021年
婚姻組数 **501,138組**※1



フォトウェディング・
前撮り実施率 **74.5%**



実施組数 **373,348組**



フォトウェディング・
平均費用 **211,234円**※2

市場規模 **788** 億円

※1 出所：厚生労働省「令和3年(2021年)人口動態統計」

※2 出所：フォトウェディング動向調査2022(Photorait)
「最終的にかかった(かかる予定の)フォトウェディング・前撮りの費用をお答えください」(単一回答/n=1,522)、左記のフォトウェディング・前撮りを実施した方を対象として実施

会社概要

商号 Ambihone(アンビオーネ)株式会社

所在地 福岡県糟屋郡

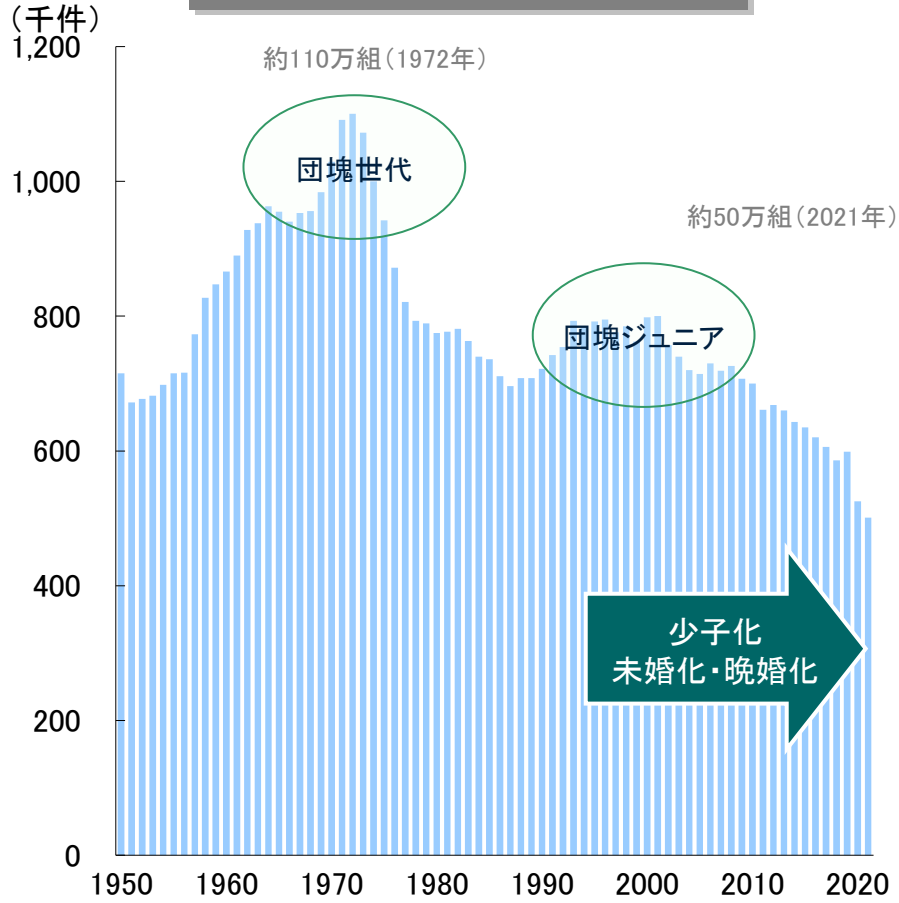
設立 2021年11月

資本金 25百万円

- 2022年10月末時点で大阪に店舗を展開、2023年は名古屋に出店を予定
- 人口50万人以上の都市をメインターゲットとして、年2-3店舗の出店に向け営業所の開拓を鋭意実施

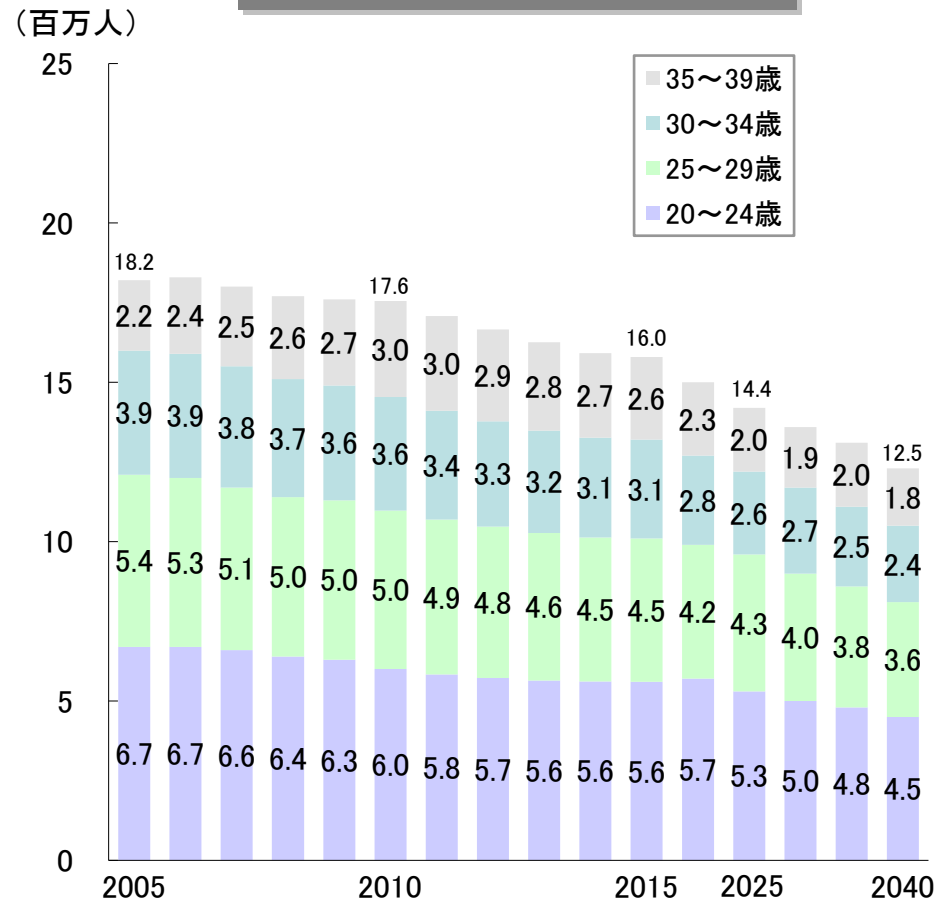
少子化の進展・結婚適齢期人口の減少を背景に、挙式・披露宴件数は今後も緩やかな減少傾向

全国婚姻件数の推移



出所: 厚生労働省「人口動態統計」、令和3年(2021)人口動態統計(確定数) (年)

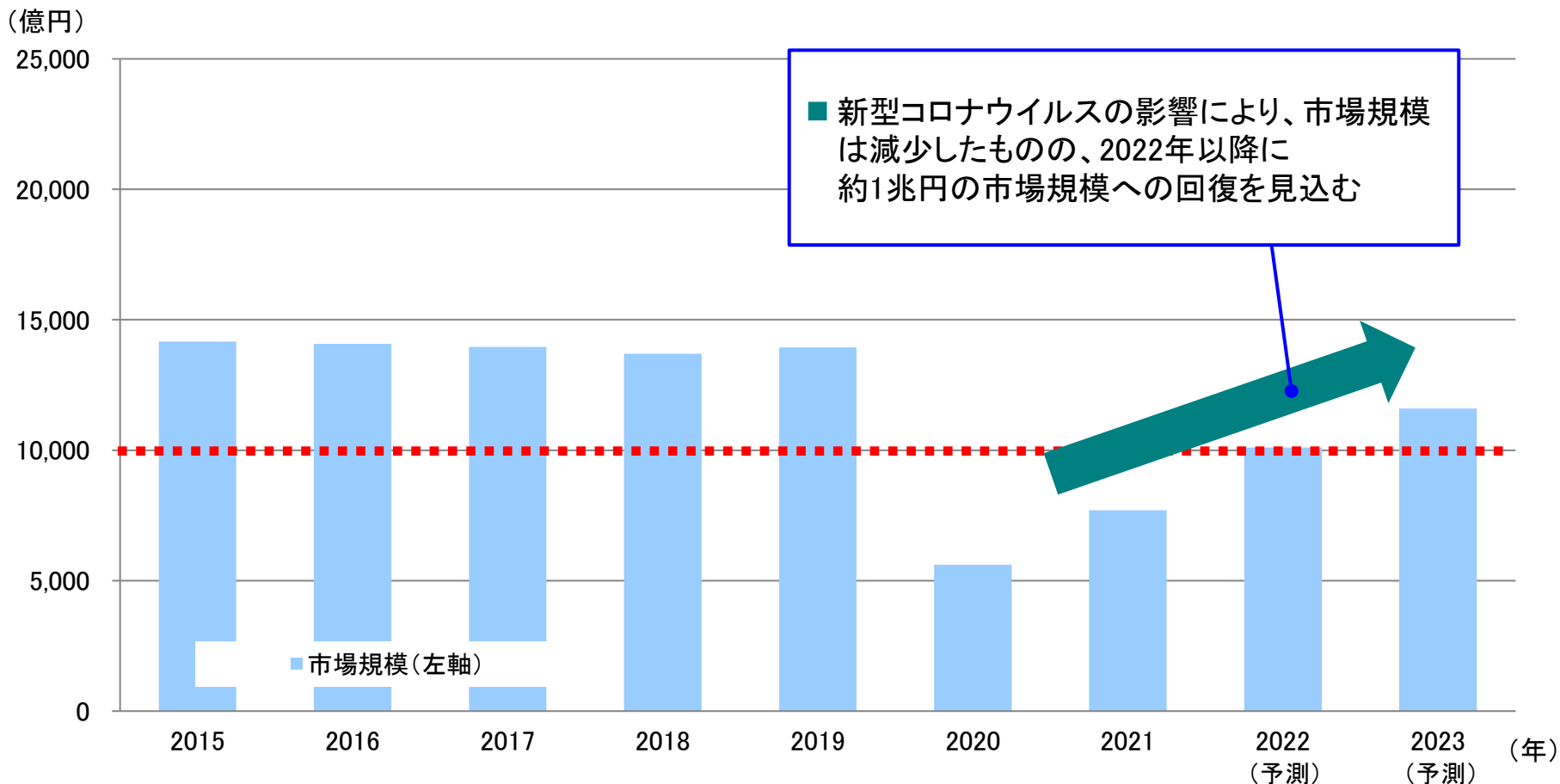
結婚適齢期未婚人口の推移・予想



出所: 国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計(全国推計)」(2018(平成30)年推計)男女年齢5歳階級別配偶関係別人口 (年)

少子高齢化の影響は受けるものの、2022年以降も1兆円産業である見込み

挙式披露宴披露パーティー市場推移・予測

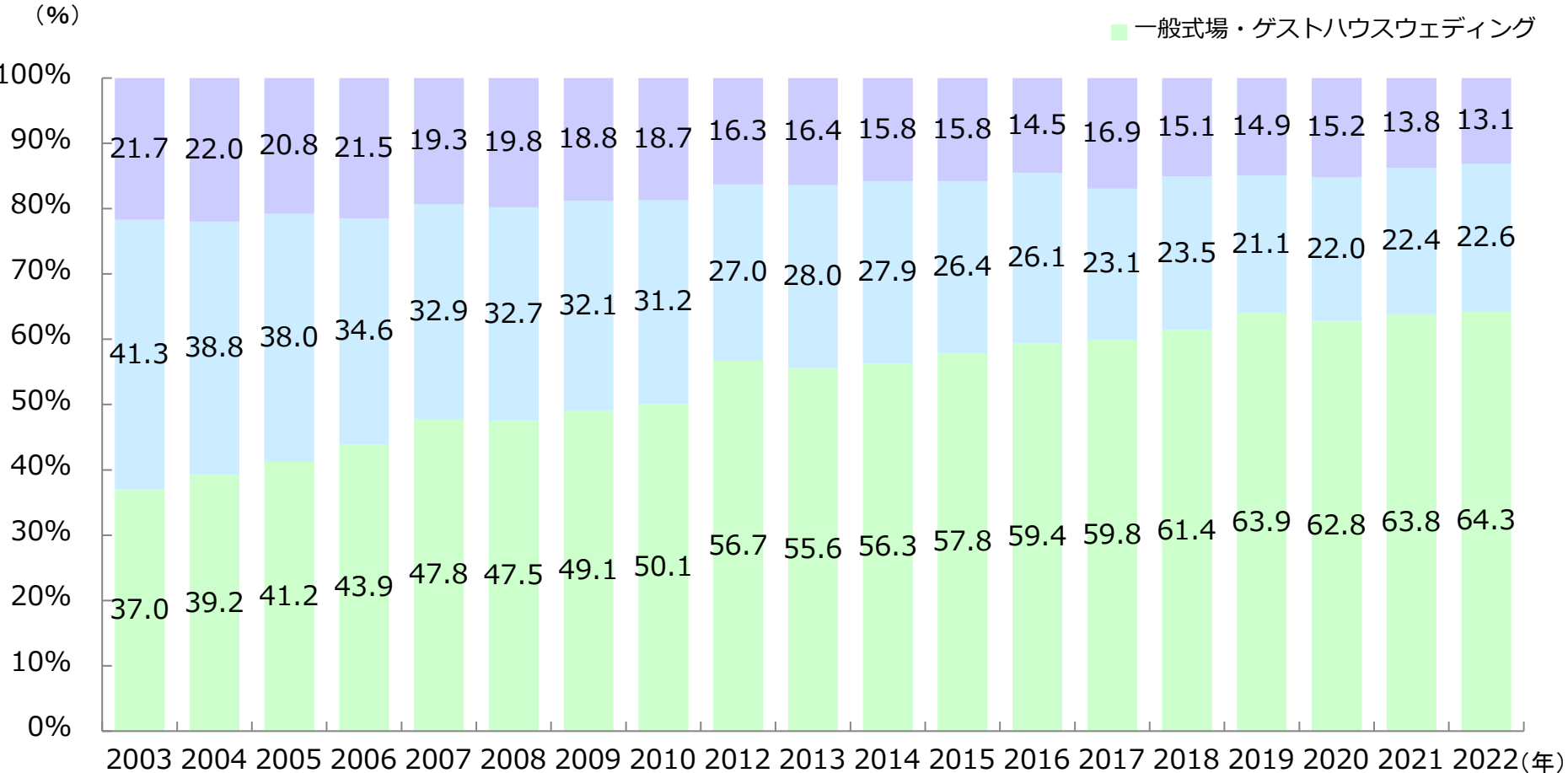


出所: 矢野経済研究所「ブライダル産業年鑑2022年版」 注: 予測は2022年3月現在

伝統や格式にとらわれないオリジナルな挙式・披露宴志向が高まり、ハウスウェディング市場のシェアが上昇

タイプ別披露宴のシェア推移

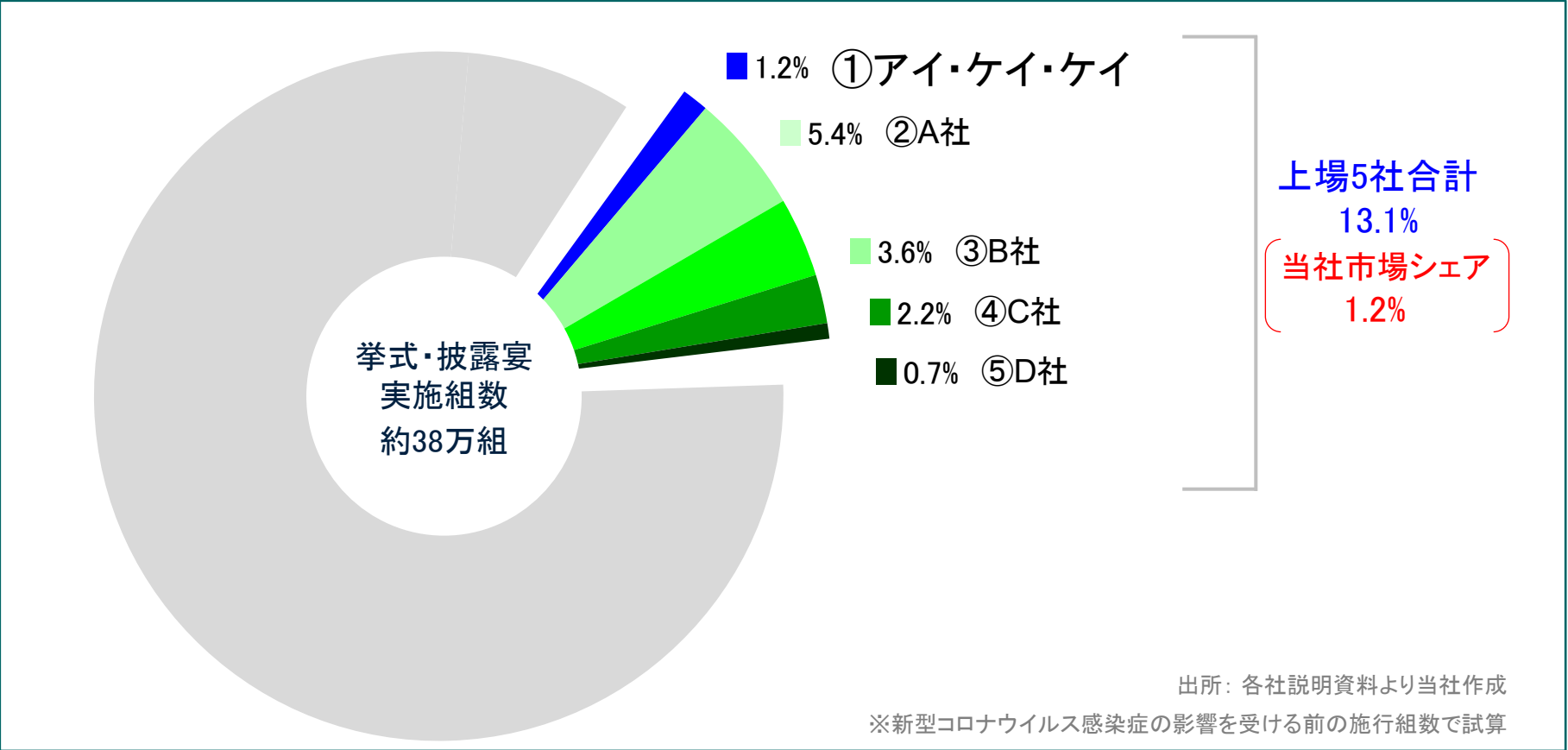
- その他（レストラン他）
- ホテル
- 一般式場・ゲストハウスウェディング



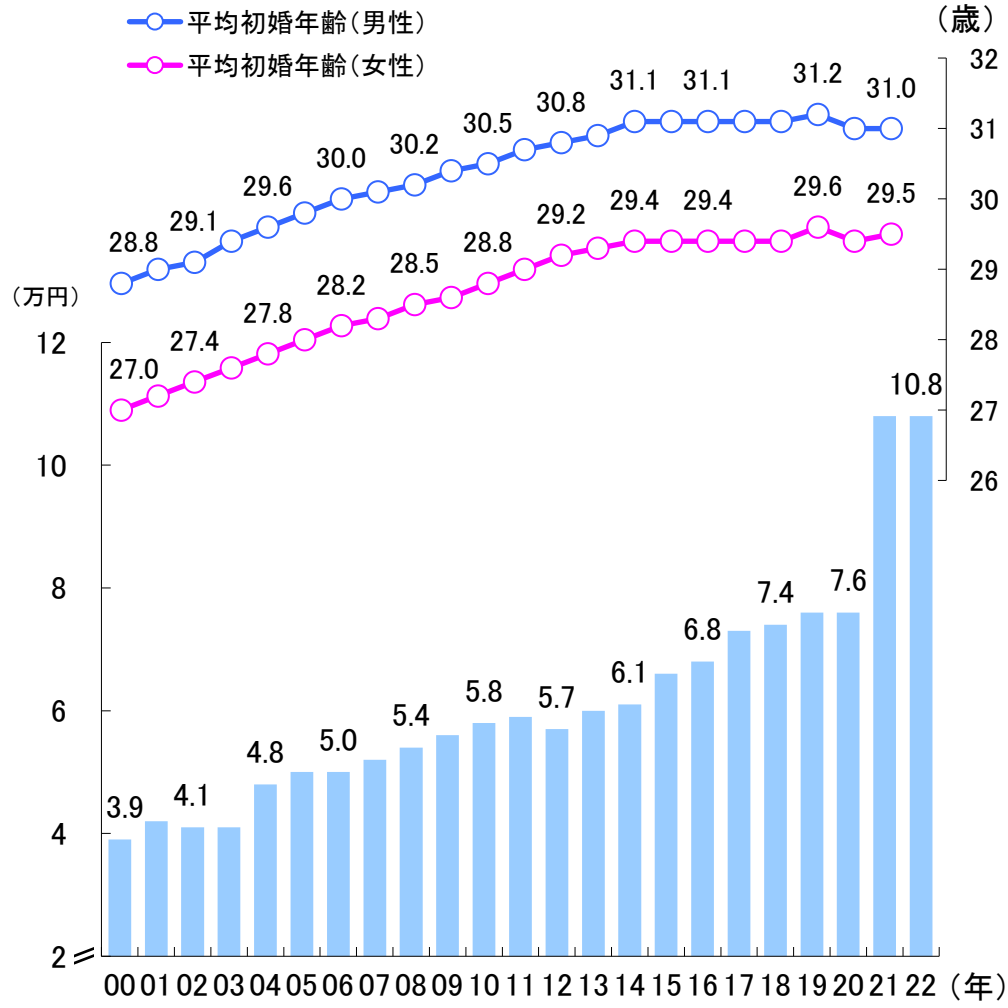
出所：ゼクシィ「結婚トレンド調査2022 全国(推計値)」披露宴・ウエディングパーティの実施会場

ウェディング市場は上位企業による寡占化が進んでおらず、シェア拡大の余地が大きな魅力

挙式・披露宴実施組数に占める上場5社合計の施行組数シェア



平均初婚年齢と結婚式の招待客 1人あたりにかける費用



結婚式にかかる費用はデフレ下でも増加の一途

- 【 要因 】
- ① 一生に一度のビックイベントだから記念に残るようにしたい
 - ② 初婚年齢の上昇もあり、招待客へのもてなしを重視したり自分なりのこだわりを取り入れるカップルが増加
 - ③ 日常生活には派手さを求めなくても、結婚式ぐらいはお金をかけたい等、取捨選択してメリハリをつける若者の増加
- 等

招待客1人あたりにかける費用は年々増加
(2000から2020年にかけて約1.9倍増)

出所: ゼクシィ「結婚トレンド調査2022」招待客1人あたりの挙式、披露宴・披露パーティ費用の総額(首都圏)、厚生労働省「令和3年(2021)人口動態統計」



本資料における注意事項等

- 本プレゼンテーション資料にはアイ・ケイ・ケイホールディングス株式会社(以下、弊社)の業績、戦略、事業計画等に関する将来的予測を示す記述及び資料が記載されております。
- これらの将来的予測に関する記述及び資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき弊社が判断した予測です。
- また経済動向、他社との競合状況等の潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。そのため、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢等の様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。



本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先

アイ・ケイ・ケイホールディングス株式会社 経営管理部 武曾

TEL (050)3539-1122

URL <https://www.ikk-grp.jp/>

